第三千七百八十二號 （一）
THE KEIJO NIPPO
大正七年四月三日 （年中無休刊）

京城日報

四月二日夕刊
（朝夕刊を併せて八頁）

發行所 京城太平通二丁目 京城日報社
發行兼編輯人 小川三之介
印刷人 奧田直毅

大島陸相の讃辭
英國陸相ダービー卿に對し

日本大島陸相は英國陸相ダービー卿に宛て今回の西部戰闘に就き英佛軍の勇敢なるを賞讃せる電報を發せるに對しダービー卿は感謝の意を表せり（經濟電報）

敵襲擊悉く擊退さる
英軍陣地支持堅固

【ヘーグ元帥公報】二月卅日午後ソンム北方に戰闘開始され敵はボアリ、ポエル及びソンムの附近地方に於て多大の犠牲を拂ひて襲擊を行ひたるも總に不成功に了り我軍は悉く是れを擊退し我陣地は固く支持され居れり尚ソンムの南方及びソンムとアヴレとの中間に戰闘屢々行はれ敵はデミンに突進し來りしも同村落西方にて我軍の爲め阻止されたり（倫敦電報）

水口借款契約成立

水口鑛山借款は先般來三井、三菱、久原等の鑛業家團と湖南省當局との間に協議進行中なりしが最近略契約成立を見るの運びに至れり其要點は湖南省の經費に充つる爲め不取敢日本金貨二百萬圓を交附し是れに對し該鑛山の鑛石買收の特權を得るにありと（上海特電）

東宮京都御著

東宮殿下には二日午後三時二十分京都御著二條離宮に入らせらる殿下には七日迄御滯留八日御歸東の御豫定なり（京都特電）

秋月子通過

貴族院議員秋月種英子は水產事業視察の爲め二日朝著釜直に京城へ直行せり（釜山特電）

喇嘛僧招待

既報の如く長谷川總督は二日午後零時三十分より喇嘛僧一行二十二名を京城ホテルに招待し精進料理にて午餐を饗せしが日本人側僧侶八名、鮮人僧侶八名、列席主人側よりは宇佐美內務部長官、小田編輯、澤田第一兩課長、神田理事官、藤波通譯官等出席尚總督は記念の爲め各喇嘛僧に高麗燒香爐一個宛を贈興せり

眞野總長招待

長谷川總督は二日午後零時半より目下入京中の九州帝國大學總長眞野工學博士を主賓とし中村精七郎、横山鏃太郎、寄川藤三郎、三島、片山、大田各鮮銀理事を官邸に招待し午餐會を開き立花師團長、小原長官、關屋局長、有賀課長、釜屋、高橋兩武官、齋藤大島兩副官、大沼師團副官等列席せり

總督邸午餐會
ペリー博士招待

長谷川總督は來る六日午後零時三十分總督官邸に於て米國マッサチユーセット州ウースター市の醫師ペリー博士夫妻を主賓としベル、プレー、牧野、ノブル、バンカー、ハルデー、ゲール、クーン、スミス、山本、藤岡、井口、丹羽等宣教師並に牧師諸氏を招待し午餐會を開く筈なるが總督府側よりは宇佐美長官、關屋、荻田兩局長、釜屋、高橋兩武官、久水外事課長同夫人、上田視學官、齋藤、大島兩副官、神田秘書官等出席すべしと因にペリー博士は米國組合協會の日本視察員として來朝せしものなるが氏は明治五年六月來朝神戸、岡山、京都等に居住すること二十四年此間傳道醫療等に從事し尙明治九年より內務省監獄顧問として我國の監獄制度に貢獻する處あり大正元年勳三等に叙し瑞寶章を授けられたる人なり

諸官制發布

左記官制は四月一日發令の勅令を以て三日總督府官報號外にて發布さるべし

一朝鮮總督府專門學校官制
一朝鮮總督府中學校官制
一朝鮮總督府高等普通學校官制
一朝鮮總督府勸業模範場官制

府令五件發布

四月三日左揭五件總督府令を以て發布さるべし

一、巡查、巡查補採用及び給與令中改正の件
一、朝鮮人たる看守及び女監取締給與規程中改正の件
一、警察官給與規程中改正の件
一、水原農林專門學校規程
一、朝鮮總督府及び朝鮮官署職員服章中改正の件

訓令と告示

四月三日總督府官報を以て左の如き訓令及び告示を發せらるべし

一、訓令 水原農林專門學校の教授上の注意を要する事項
一、告示 官立學校の位置 京城中學校大田分教室廢止

鮮銀改正法公布
實施は廿一日

第四十議會帝國議會を通過せし朝鮮銀行法中改正法律案は御裁可を經四月一日の官報にて公布されしが其實施は來る廿一日よりなりと

法制局繁忙

道視學制度に伴ふ官制其他新たに實施さるべき制度の發布遲延に就き總督府當局者は語りて曰く法制局にては然なきだに繁忙を極むべき時期なるに目下同局參事官中三名の病氣引籠者ある由なれば審査も延引すべく他に理由あるにあらざるは勿論なりと

鮮魚運賃特定

滿鐵京城管理局にては四月一日より鮮魚（鹽、干魚、燕魚、介虫類、蒲鉾を含む）運賃を左の如く特定す

	五十斤迄一箇に付	以上十斤又は十斤未滿を增す毎に左記金額を加ふ
五十哩未滿	四〇錢	〇七錢
百哩同	四五	〇八
百五十哩同	五〇	〇九
二百哩同	六〇	一一
三百哩同	六五	一二
四百哩同	七五	一三
五百哩同	八五	一五
五百哩以上	一、〇〇	一八
新義州安東間（除新義州安東間）	一〇	一

因に本運送に於る小荷物に對しては著驛に於て配達の取扱を爲さず

鮮銀臨時總會
改正定款の附議

朝鮮銀行にては改正銀行法の公布に伴ひ定款改正の必要を生じたるを以て改正定款附議のため來る四月十七日東京銀行集會所に臨時株主總會を開催する事となり二日株主に對し通知を發したり改正定款の內容左の如し

▲改正定款

一、第二十五條を左の如く改む
當銀行に總裁副總裁各一人理事三人以上を置く

二、第二十六條第一項を左の如く改む
總裁及副總裁は其の任期を五年とし政府之を命ずるものとす

三、第二十九條を左の如く改む
副總裁は總裁事故あるとき其の職務を代理し總裁缺員のとき其の職務を行ふ

四、第三十條を左の如く改む
理事は總裁及副總裁を補佐し銀行の業務を分掌す

五、第三十二條第一項を左の如く改む
總裁、副總裁及理事一箇年の報酬額は左の如し

一 總裁		六千圓
二 副總裁		五千圓
三 理事	一級	四千圓
	二級	三千圓

同條第三項を左の如く改む
總裁副總裁及理事に對しては手當を給することを得其額は朝鮮總督の定むる所に依る

六、第三十三條を左の如く改む
重役會は總裁副總裁及理事を以て之れを組織す

七、第四十三條を左の如く改む
株主總會に於て議決したる事項は之を決議錄に記載し總裁、副總裁、理事及監事之に記名捺印すべし

八、第四十四條を左の如く改む
株主總會出席者名簿は總裁、副總裁、理事及監事記名捺印したる上決議錄に附綴すべし

九、第四十五條第一項に左の一號を加ふ
八、前記の業務

十、第五十三條第二項を左の如く改む
前項の準備に依るの外五千萬圓を限度とし國債證券其の他確實なる證券又は商業手形を保證として銀行券を發行することを得べし

調停成立迄の經過
貨物取扱手數料問題の解決
京城商議副會頭 釘本藤次郎氏談

京城の荷主對運送業者間に於て紛議を醸しゐたる貨物取扱手數料問題は朝刊既報の如く

▲商業會議所の調停により圓滿に解決せしが右に付會議所副會頭釘本藤次郎氏は曰く今回の問題は京城の運送業者が堅い組合を組織する事となりその運送手數料を從來に比し約三割許り引上げやうと決議し發表した（十六割引上げなどと稱し騷いだ向もあるがそれは改正せし普通運賃の最高額と特約運賃の最低を比較したので問題に非ず）との理由は物價騰貴や勞銀の値上りや其他運送上色々の關係から起つてゐるので一面止むを得ぬ事と思はれるが、突如三割も引上げると云ふ事は甚だ穩當でないと云ふ荷主側の意向より反對が起り、結局荷主側では一個の運送會社を

▲五萬圓の資本で起すと云ふまでに形勢は進んで行つたのでした、然し此の運送會社乃ち荷主が株主になつて起す運送會社は却々經營が難しい、古い事であるが予等も左樣な理想を以て京城運輸會社なるものを起した事もあるが經營が行かず遂に解散したのであつた、何故と云ふに株主は會社から配當を多く受けるため大に儲けたいのだが、大に儲けやうとするには荷主たる株主が多く料金を支出せねばならぬ、そこに矛盾がある、又他の運送店からの競爭なども加はりどうも圓滑に行き兼ねる、予はかゝる意味から新運送會社計畫者（主として食料品組合の諸氏）を說いた所、諸氏の意見によるとイヤ新運送會社の設立は吾々の理想である、かくすべての機關を整備し而して可成安價に食料品の一般供給を圖るのが希望であるとのお答へであつた、

▲結構な事 だと予等も存じたのであるけれど、然し此際直ちにした運送料及び手數料を相當引下げさへすれば別に新に運送會社を起したりせぬでもよいのではあるまいかと聞くとそれはさうだと云ふ意向であつた、乃で一方運送業者の方に對し今少し引下げの餘地はないかと質して見たらこれも相當の讓歩の仕方で若干步み寄りの餘地があるらしい、そこで會議所は中に立つて斡旋をなし結局一日午後荷主側と運送業者側の會合を求め腹藏なく披いて談合した結果一の成案（別項大村氏談參照）を得たのです、之れによると改正貨率は大體に於て三割高であつたが、協定の新賃率は

▲それより約一割五分低く從前の運賃より一割五分高 となつたのである、これ位は止むを得なくなつたと思ふ、

▲時節柄 止むを得ぬ値上げであるが而して此の協定賃率でも深山の賃率を出す特約賃率には及ばないのである

▼協定賃率要點
總て中庸を採る
大村會議所書記長談

近來喧しかつた荷主對運送業者間の運送料手數料の値上問題も一日會見の結果圓滿に歸著點を見出した、元來此の問題は實質以上に騷々しく取り扱はれた形があり多少の誤解もないではなかつたかに見ゆる、予は當初荷主の言ひ分と運送業者の主張を聞くと何れも相當な根據と信念に立つてゐるので其調停は困難かと思つてゐたが兩派の打ち解けた會合は極めて圓滿に新賃率の協定を成立せしめた、新賃率の要點は

▲發送手數料 協定せし賃率は從前の率と運送組合の改正賃率の合計せるものを二分したのより尚ほ幾分低下した、而して五十哩百哩百五十哩の三地帶の分はすべて五十哩分による又東大門より百六十四哩、釜山は二百六十哩なるも京城商圏內に付百五十哩未滿とする事、新義州安東縣は三百哩以上なれども三百哩未滿と見る事

▲集配賃金 及び發送手數料は運送組合の運賃が二割乃至三割の値上げとなり騰れるに付新運賃を合せ折半せしものを協定運賃としたり

▲到著貨物取扱手數料 は百斤に付從前五錢を改正運賃八錢とせしを六錢に協定したり又取扱は從前二十錢を改正運賃三十錢とせしを二十五錢に協定せり又以上の協合に於ける特殊品發送賃金表は協議の結果下げ得べきものは下げ得可からざるものとあるに付下げ得る餘地ある者は一割乃至二割を引下げたり

辭令
一日附左の通り辭令あり

京城中學校教諭 岡本幸太郎
任大田中學校長兼大田中學校教諭
叙高等官五等六級俸下賜

京城高等普通學校教授 重田勘次郎
任咸興高等普通學校長兼咸興高等普通學校教諭
叙高等官五等五級俸下賜

京城中學校教諭 藤井友吉
任龍山中學校教諭
叙高等官七等七級俸下賜

總督府勸業模範場技師 [illegible]保之助 向坂茂三郎
任水原農林專門學校教授（各通）
叙高等官四等

永岡堯
任水原農林專門學校教授兼總督府勸業模範場技師
叙高等官四等

岩田次郎
同上
叙高等官五等

楠木秀幹
同上
叙高等官六等

上杉綱雄
同上

朝鮮總督府勸業模範場技手 岩崎行高 中田覺五郎
任水原農林專門學校教授（各通）
叙高等官七等

吉野久次
朝鮮總督府技師 岡田虎輔
任咸興高等普通學校教諭
叙高等官七等七級俸下賜
依願免本官

藤岡牧師の外遊を送る
山縣生

○京城メソヂスト教會の藤岡牧師は今回本部より北米留學を命ぜられ、不日渡米の途に就きシカゴの或神學校に於て三年間講學せらるべしといふ。氏は猶春秋に富み、有望なる未來を有せらるゝの人、氏が其學問を大成するの機會を得られしは、氏の一友として氏の爲めに余の慶賀する所である。

○氏が北米に於て神學の蘊奥を究めらるゝは甚だ可、然れども余はそれよりも氏が彼の國に於て眞の基督教的偉人を看出し、其人より實行的基督教を學びて歸朝せらるゝことを祈る者である、余の尊敬する一友人が久しく英國に留學して歸朝したる際、何が最も深き印象を彼に與へたるかと問ひしに、「人である、偉人である」と彼は答へたが、余は此答を得て大なる喜悦を感じたのであつた。多くの洋行者は西洋の進步したる學問を得し、其雄偉なる物質的文明を學びて歸れど、西洋文明の根底たる精神上の感化を受けて歸るは甚だ少い。我國が西洋文明に接觸して茲に半世紀を經たるに拘らず、今猶ほ西洋文明の眞髓を了解して我國人を導く人物なきは、これが爲である。前に言ふ余の友人は西洋の物質的文明に眩目せず、眞の道德的偉人に師事し、其感化を受けしが故に所謂ハイカラの惡風なく紳士として指導者として眞に尊敬すべき人格を作り得て歸朝した。

○九州の牧師事件の如き醜惡なる出來事の頻繁に起る今日、我國の最も多く要する所の人物は學者に非ず、專門家に非ず、人を正しき道に教へ導き得る資格ある高德の君子である。余は藤岡氏が斯の如き資格を作りて歸り來らるゝことを切望す。斯の如き資格は神學の研究によりて得らるべくも非ず、高士偉人に接して始めて之を得べし。余は藤岡氏が學窓に止まらず米國の最上士女を含める社會に於いて多くの時日を費し、物質的文明の米國よりも精神的文明の米國を學びて歸朝せらるゝことを希望してゐる者である。

○日本の宗教界は今日理論を要せず、神學を要せず、實行を要するのである。去年の冬朝鮮窮民の救濟事業が外國宣教師の手によりて開始されし際、或日本の牧師は、彼等窮民を救濟するも畢竟徒勞に屬すならん、彼等は怠惰性を成せる者、今日の苦厄は彼等自ら招きし所なれば彼等を救ふは害あるも益なけれんと言ひしと聞く、眞に道理ある言なれど、これ果して愛の基礎の上に立ちたる宗教家の言なるか。基督は人の罪に死なんとするを、其過往の誤を咎めて救ふべからずと訓へしか。今日の宗教界には斯の如き理論家多くして、實行者甚だ少なし。我國の宗教界の振興せざるはこれが爲めに非らざるなきか。宗教家は始めより終り迄愛に生き、愛を實行すべき者、憐むべき者現はるれば、其者の罪の如何を問はずして、先づ之を救ひ、然る後教訓すべし。西洋の眞の基督教徒は斯の如き人なる事余の言を須たずして藤岡氏の熟知する所ならん。余は氏が如何に此等の眞の基督教徒が神の爲め人の爲め生きつゝあるかを見て歸り來らるゝを希望す。

組合會議續行

過日の京城學校組合會議にて第一號議案より第十號議案迄第一讀會を經て全部委員附託となりたるが福田、田中、大垣、大和、大村、深見、上野の七議員を委員に擧げ一日午後三時より連日委員會を開會中なるが本年度の豫算は學校新築及び物價騰貴等に起因し五萬圓以上の增額を見るに至りたるを以て委員は充分に調査審議を爲すべしと

總領事轉任說
永井官補打消す

東上中の奉天總領事赤塚正助氏は外務省某局長に轉じ其の後任には政務局第一課長小村欣一侯の補せらるゝ事を報ずるものあるが東京にて總領事と會見の上赴任の途入京中の永井奉天領事官補はさる事實は遠き將來は知らず今日に於ては本者の耳に入り居らざる旨總領事の意を受けたるらしき口吻にて言明せり

永沼中將來期

帝國在郷軍人會理事永沼中將は全道に於ける在郷軍人會狀況視察並に講演を兼ね來る十日頃來鮮す可しと

立花師團長東上

來る八日より十四日迄一週間陸軍省、參謀本部、教育總監部等に於て開會の師團長會議列席の爲め第十九師團長立花小一郎氏は同副官田崎少佐を隨へ三日午前八時五十分龍山發列車にて東上すべし

鹽澤大佐出張

鹽澤京畿道警務部長は明城管內視察の爲め二日出張せり

片山理事挨拶

鮮銀理事片山繁雄氏は二月不破秘書役の東道にて警務總監部、中央試驗所、遞信局、東拓、李王職、京畿道、高等法院、地方法院各法院を歷訪新任の挨拶をなせり

阿部氏英國出張

鮮銀本店在勤同事阿部讓氏は豫報の如く四月一日附倫敦出張を命ぜられたり三四日中に東上五月上旬の便船にて英國に向ふ豫定なりと

●大原胤夫氏渡米 朝鮮銀行營業局勤務同事大原胤夫氏は四月一日横濱出帆のサイベリヤ丸にて米國に向へりと

●阪泉課長引籠 鮮銀庶務局國庫課長兼秘書役阪泉幹太氏は微恙にて引籠り中なり

電報不著
東京方面

よりの電報は中絶き頻轉延著連日大部分夕刊締切迄に間に合はず讀者の期待に辜負すること尠からず尤も不日復舊すべき見込の由なれば復舊迄は諒とせられたし

人事消息

▲津田秀雄氏（三井物產滿州支店長） 二日朝退京
▲中村林次郎氏（三菱製鐵所營業部長） 二日朝入京天眞樓へ
▲後藤瑞巖師（妙心寺派布教監督） 大邱釜山巡錫中の處三十一日夜歸山
▲平岡光三郎氏（第一銀行副支配人） 一日東京へ
▲中村精七郎氏（實業家） 一日入京
▲賀田金三郎氏（實業家） 一日入京巴城館へ
▲當田見氏（東拓理事兼所長） 一日退京
▲川口京管局工務課長 出張中のところ一日夜歸京

九州要地歷訪（五）
別府生

◇久留米より

◆久留米財界の實力は博多に比し格落ちにて、先づ辛うじて其の半を支へ居る位なるべきか、例せば久留米の商人中には博多邊より商品の供給を受けつゝある者少なからざる由にて一面より見れば久留米は博多の商圏內にありと申す人も有之候

◆然も近年の久留米は餘程繁榮の度を加へ、市況も活氣を呈し居るを見る、十數年以前の久留米は衰頹の一方にて殆んど其前途は悲觀の外なかりき、此時に際し第十八師團司令部の久留米設置決定あり久留米は師團の設置により蘇生せりと云ふも見當違ひに無之候

◆久留米の發展が事業の興隆によらず、又對外的なる能はざるは久留米が海面を有せざるためならんと存ぜられ候、筑後川の旺流に臨み居れるも、此の河川は到底小蒸汽以上を航通し得ざる事とて、その久留米に水運の便を與ふる事は僅少也、唯頻りに中央の有力業家に於て試錐せられつゝある筑後炭田の前途並に筑後人士の頻りに唱道しつゝある久留米大分間の鐵道にても物にならば、石炭集散市場として將た又東九州に連絡を有する都市として若干の新生面を開き來るべきか

◆久留米に於ける生產事業は足袋、久留米絣、藍胎漆器等極めて常套的のものなり、唯常套的なりと雖もつちや足袋、國武氏の絣製造の如きは其の事業に近世化學の力を遺憾なく應用し居れる如し、此點に予輩は幾干の意義を見出し候、又絣と云ひ足袋と云ひ近年輸入の好況の山にて、寧ろ國際的需要の產物と云ふよりも國產と稱するを適當なりとも承はり候

◆久留米の事業界も目先き注目すべき新計畫もなく、筑後炭田にても大に物にならざる限り、事業家の注目を惹く事は難きに非ざるなきか、小生はかく思ひつゝ此地を辭し申候

◇大分の將來

◆勃々たる北九州の事業熱は遂に多方面より、大分地方に先づ其の進路を見出しつゝあり、大分方面には石炭の生產なきも、九州水力電氣會社の發電水力近き將來に於て十萬キロワットを越ゆべしとの事に付、此の電力を基礎とし、夙くも各種事業の勃興を見んとしつゝあり候

◆例せば日本窯業のカーバイト工場の如き、成瀬氏の製鐵所の如き、鈴木氏も何等かの生產事業を大分に起さんとし、久原氏のニッケル工場並に佐賀關製煉所の如き何れも大分方面に設け又は設けられんとしつゝあり候

◆更に大分より熊本及び宮崎方面に至る間の林產物並に鑛產物は未知數にして、其の開拓の一進に伴ひ、如何なる新事業を生み來るやは知るべからず、大分方面が近時著しく事業家の注目を惹き來れるは、決して故なきに非ず候

◇記念號に讓る

◆小生は北九州の工業に對し離的觀察、乃ち何故に振興せしか何故に北九州は事業經營地として有利なるか、更に戰後の豫想等に付、記述したき多くのものを有すも近く觀察團に關する記念號刊行の豫定に付、余は其際に讓り申候（了）

十一月一日現行

喇嘛僧赴日團來京

◇赤紫黄の支那服の一行廿名◇

—自動車で朝鮮ホテルへ—生れて初めて乗つた—朝鮮銀行で接待の茶—象の吼る様な讀經—總督府訪問—東本願寺へ—總督招待の精進料理—

會議室にて總督の挨拶あり

喇嘛僧十六名隨行四名の一行は二日午前八時南大門に到着した、赤紫黄の

▽支那服を纏うた喇嘛僧は各自に、歯磨タオル繪はがきなど各地から寄贈された品々を容れた風呂敷包を小脇に抱へてプラツトホームに出て來ると出迎の内鮮僧侶と挨拶を交した後本社寫眞班のレンズの前に立つ、それから南大門通りを自動車で朝鮮ホテルに向つたが

▽生れて始て 自動車に乗つた事とて恐ろしく不思議がり子供の様な奇問を發して頻りに首を傾てゐた朝鮮ホテルでは奉天皇寺の徳瓦と言ふ喇嘛僧が恐らく世界一の輪奐美であらうと言ふと大庫倫法王廳の外交を掌り嘗て露國と五百萬元の借款を結んだと言ふ團長寶海清が大連の大和ホテルも此の結構には遠く及ばぬと御愛嬌の通を振り撒く、ホテルの食事の時も朝鮮銀行で接待の茶を喫む時でも必ず

▽讀經をして からでないと手も著けないが其讀經が象の吼るが如く殷々と響くのを聞いて案内の日本僧侶が流石に苦行が積んで居ると歎賞して居たホテルで遽廟然と喇嘛の僧服を著けた一行は朝鮮銀行に車を飛ばしたが此處でも世界一だらうと言ふ評が出て若非喇嘛寺に斯した大規模の建築が欲しいと言ふ商品陳列館から總督府に赴き階上會議室で

▽長谷川總督 に會見した、總督は「貴僧等とは初めての會見でありますが遠く蒙古より日本を觀光すべくお出でになつた事は私共の大いに歡迎する處であります蒙古と日本とは人情、風俗が等しく相似して居るが宗教が同じで教理の上に於ても渾然一體和交流する所の或者があるから此の熱誠を以て歡迎する事と信じますどうぞ悠々御觀光あらん事を希望致します」と言ふ意味の挨拶を述べ團長から

▽叮嚀な答辭 があつて會見は五分間で終へ府内を一巡の上東本願寺へ赴き佛殿に於て讀經をした上一面所被の如く京城ホテルの總督招待に係る精進料理の饗應を受けた

因に今回來京した喇嘛の日本觀光團員は[illegible]（京奉線錦州に近き地方）から八名出る、即ち大喇嘛廟の二名と小喇嘛廟の二名と黒地廟の二名と梅里廟の二名である、また小庫倫の王爺廟から二名出るが遠い所では[illegible]から奥地に入つた達爾漢のモリン廟から二名、更にまた[illegible]からは[illegible]とから各二名の喇嘛が出る、それに隨行員[illegible]名を加へ一行廿名の多數である

總督の喇嘛僧招待

（右）＝京城ホテルにて精進料理を饗應＝（左）記念撮影 [illegible]

神戸にて喇嘛僧歡迎

蒙古喇嘛僧一行五日神戸著同夜オリエンタルホテル歡迎會に臨み後ち諸會社巡覽の筈（神戸電報）

大阪の長者順

住友男は第一 成金輩出にて轉變あり

大阪の多額納税者は船成金等の續出にて順位變化あり二萬六千四百九十一圓の納税者住友男依然第一位なれど鴻池男の如きは甚しく下位となれり（大阪特電）

女工爭奪取締

、従業員の募集禁止

大阪府は女工爭奪を防ぐ爲め女工に限り従業員の手に依る募集を禁止せり（大阪特電）

遼河流氷

三江口假橋爲に危險

遼河は近來の解氷にて六十七尺より三十四尺の流氷山を移し四鄭線三江口假橋は爲に危險となり列車は六哩徐行し目下當局係員は善後策に就き多忙を極め居れり（奉天特電）

記念植樹

＝四月三日は總督府＝

◇春の郊外に ◇樹を植ゑよ

毎年四月三日は朝鮮全土を通じて記念植樹を行ふのが恒例となつて居る第一回は韓國併合の翌年で以來年々

◇盛大 になり今年は第八回目である記念植樹日には都會と田舎と老人と子供の別なく苟も朝鮮に在住する者は悉く野山に出て植樹を行ふのであるが年を重ねるに從ひ此の

◇趣旨 は次第に普及し第七回に當る大正六年の四月三日には二千百八十二萬本を植栽した、總督府では從來奨忠壇の奥で擧行して居たが今年は西大門外阿峴

◇總督府 京城林業試驗地構內に於て記念植樹を行ふ事になつて居る午前十時から開始の豫定であるが右植樹地は義州通電車貨物邊界（西大門郵便局前）から約五町、麻浦行電車

◇阿峴 から約四町あるが其間には諸所に案内員及び指導票が置いてあるから參加者は道に迷ふことなく容易に現場に到着する事が出來るであらう尚此附近は

◇緑滴 る松丘を以つて圍まれ恰ら小公園の觀があり一帯に野趣に富んで居て摘み草などには持つて來いと云ふ場所である、其構內には清冽な

◇藥水 が滾々として湧き林業試驗地には各種の施設及び見本林があつて希望によれば無償で苗木を分配するから一日の清遊には誠に誂へ向きのところであらうで記すが

◇記念 植樹は二日夜又は三日が降雨の場合は來る七日の日曜迄延期するさうだ

鮮童の生首

大田市外の慘屍體

去る三十一日午後大田春日町一丁目の某氏が狩獵のため大田市外字休岩里荒瀬製陶所附近の小松原を通過せしに血痕の附著せし鮮人衣類の傍らに見るも慘ましき生首の轉がりゐるを發見し尚ほ其の附近に生々しき肋骨様のもの散亂し居たれど其の生首は頸部より見事に切斷されて居り年齢十四五歳の鮮人の男子たることは一見して明かなるも死後三十日位を經過せしものらしく其筋にて目下取調中なり（大田）

慈善音樂會

＝小石川託兒所のために＝

八日朝鮮ホテルにて

◇櫻楓會朝鮮支部主催

丸山千代子女史の開設經營せる東京小石川

◇託兒所 は時勢の要求に伴ひ擴張の必要に迫られ且は又近時諸物價暴騰の際とて經營上種々の困難を訴へつゝあるを以て之が援助の爲め恰も同女史が女子大學出身者なる關係上同校の同窓會たる

◇櫻楓會 京城支部に於て寄附金を募集し後援を爲すの目的にて素人慈善演藝會を催す可き計畫中なりしが既に諸般の準備全く整ひ愈々八日（月曜）午後七時より

◇朝鮮ホテル に於て開會の事に決定せり當日の演藝目次如左

▲第一部 [illegible]（終りて休憩）

▲第二部 [illegible]合奏（長唄以上）

而して出演者は京城第一流の紳士淑女諸氏にて玄人以上の素人なるに入場料は一人券三圓（二人）五圓の兩種にて[illegible]朝鮮に於ける慈善事業にも寄附の筈なり

◇肝付氏退院 [illegible]

四月の嘘付日

京城も盛んになつて來た

西洋では四月一日を「嘘付日」として[illegible]

日記をつける人もあり窓外の雨を珍らしさうに眺める者もあつた▲二日朝開城附近で朝鮮はどうだと訊くと先づ樹木の多いのが珍らしいとの返辭▲一行の中に美しい珊瑚のついた珠數をもつた人の目くばせの黒い方の珠は鹿の角で拵へたものだが而も心の善い鹿を選んだものであると……心の善い鹿は面白い▲朝は列車の裡で一同お經を讀みはじめる其の合間々々には日本の神主のやうに拍手うつのも面白かつた、これは原始神道のシヤーマン教から來たものと思はれる▲お經は歐文のやうに横にかいた西藏文字で紙は一枚々々離れてゐる▲お經の中には大般若經をはじめ願ひ事の叶ふやうにとのチヤンプアンスオモウボンチヤンといふ經もある、また邪物除のお經から樣々な諸行の出來るお經等もあつたり▲對に一番大部のは來生によい人に生れる、容貌よくなる、聰明になる等のものである▲また喇嘛僧は一樣に袈裟をもつて女學生袴と同一の織物で日本の西藏の織物で日本のカシミユール地方と同一のものであるらしい

お客が□□悪巫坐戲を

したら柔術で防がう

こいふ中券の藝者

▽—明治町の揚武館の磯野師範

▽—鋭い聲—稽古場巡禮その四

「ヤツ、ヤツー」と底力のある聲が交はされると、續いてドタンバタンと投げる音、叩きつける響き—江戸川と明治屋の間の路次を道入つて明治町の方へ抜けて行かうとする所に在る

◇柔術 の道場の前を通た人は必らずこの勇ましい音を聽いたことだらうと思ふ、京城で初心者の教授に重きを置いてゐる町道場としては、殆んどこゝのみで師範を磯野君といふ、見たところは小さいけれども、十一の年から四十になる今日まで稽古で鍛へあげた身體は金鐵の如く固く、黒光りのする顔の中に人を射るやうに輝く鋭眸は一見柔術の

◇先生 らしい、磯野君は遠州の人で淺山一傳流の達人たる某氏に就いて免許皆傳を取り更に講道館の加納治五郎氏に就いて修業したのださうだ、揚武館を起すについては黒田甲子郎、中野正剛、小幡虎太郎、青柳綱太郎、阿部充家氏等が盡力して一時は頗る

◇盛ん であつたさうだが、柔術志望の入門者はあつても實際の酷しい京城では長續きがしないさうである、揚武館に習ひにくる人には種々様々の人があるが、一番多いのは何んと言つても子供で、老人様では南頭店のおやぢさん、京城新聞社長の青柳南瞑氏などを[illegible]

◇運動 かてらに毎日やつて來るさうである、毛色の異つた連中では中券の某藝者—本人の希望とあつて特に名前はその頭字だけにとめておくが—何れも十九になるKといふのとHといふのが來るさうである他にも

◇婦人 の門人もあるが、二人の藝者が柔道を習はうといふ氣になつた動機は癖の悪いお客などが手を握つて離さなかつたり無理無體に押つけられたりする場合が多いので術で柔らかく振り離したいといふやうなことが第一の願ひであるさうだが、却々

◇熱心 ださうである、こんな藝者が澤山出て來てはお客たる者うか／＼としてゐられぬことにもなるから出來ない譯だがわらい事になつて來たものではある、そして磯野君は柔道の外に接骨も出來るさうだ

讀者文藝

＝一等には五十錢の書籍券を呈す＝

▲下句付「春雨に」

春雨に入浴姿の柳かな（一等）　京城南山町二の一五　田中夢國

[illegible]

◉投稿者に注意 讀者文藝投稿者は[illegible]

紅蔘密造者

檢擧さる

[illegible]京畿道開城生れ崔某なる者と[illegible]支那種の水蔘百五十七斤を購入し同年陰九月三日[illegible]一斤二十圓に賣るも一千五百圓を得べしと稱し金汝霖に之を引渡し[illegible]

▽賣却の運動[illegible]

大阪期米

[illegible]

商況

兵庫切米

[illegible]

東京期米寄合

[illegible]

大阪株式寄合

[illegible]

大阪三品寄合

[illegible]

大阪期米寄合

[illegible]

下關期米

[illegible]

雜報

◉三品反動安 [illegible]

落か移し綿布は三銘八圓餘の奔先物十一圓六十錢[illegible]

◉砂糖品切れ 手持皆無 [illegible]

ザラ糖の使用餘儀 [illegible]

各種共に全然品切[illegible]

ゼーの十五圓處か中値は十六日前後に赤白取交ぜ多少の入荷[illegible]

◉正米依然持合 [illegible]依然持合の儘待的[illegible]

◉麥粉手堅し [illegible]滿洲粉[illegible]

◉機械油値上げ 外油又々一圓六十錢の方値上げ 賣價行十一圓三十錢[illegible]

◉支那粟引弛む [illegible]前日に比し更に二十錢方引弛めたり

◉雜貨類の近況 [illegible]鉛[illegible]安質時尼[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川正米

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川期米

二日前場（強硬）[illegible]先二十一圓八十四錢と一錢高[illegible]

下關相場

[illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人 金谷商店 [illegible] 仁川海岸町三丁目 電話[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 圓仲買店 電話二八二長二八三 電略シ又は(カクシ)

仁川米豆取引所仲買人 金仲買店 主任[illegible]

田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

市場雜觀

[illegible]

仁川取引所

二日の六月限 [illegible]

[illegible]於て人蔘約四百間を耕作し居りしが中途全部腐敗したる爲め之が回[illegible]八月末日同郡[illegible]面大平里居住[illegible]は大に歡び遂に大正六年陰[illegible]
▽紅蔘七十五斤を製作し[illegible]に依賴したり茲に於て崔は[illegible]きに至り紅蔘を二箱に入れ從弟な[illegible]ざれば今は自ら賣却するの餘儀なん爲め[illegible]の松都面滿月町六七三番地[illegible]なるものに情を明かし[illegible]所へ事件を送致せられたり(開城)

仁川米豆取引所　二日の六月限

仁川期米　當限一節二十二圓〆五錢　中限一節二十一圓九十五錢三錢　四錢五錢平均値段五錢九十五二節　二十二圓〆一錢二錢一錢三錢四錢二十二圓四節二十二圓二十二圓〆一錢二錢一錢二錢一錢五錢[illegible]

目先の變る蒙古の庫倫
駱駝七八千頭―大した活佛の勢力
日本人にも適する生業のいろ／＼

某任務を帶びて昨年末外蒙古庫倫を旅行し二十九日夜長春通過歸東の途に就ける某旅客の庫倫近況を聞くに左の如し(長春)

外蒙古庫倫に入るには西伯利亞鐵道ウエルフネウジンスク驛に降り同地より、貝加爾湖に注げるセレガ河を約二百哩の汽船にて上り露蒙國境に臨める哈克圖にて船を捨つべし此の行程約二晝夜、彼所より馬車にて約五日行程にて始て庫倫に達すべし、セレガ河は非常なる急流なるを以て下りには僅に十時より要せざるなり、扨て庫倫は四方山に包れたる市街にして彼の外蒙の主權者活佛の居所たる大都なり、同地は蒙古人約三萬、支那人約二萬五千、露西亞人一千五百日本人三十四、佛國人一名が現在居住者の數なり彼の露蒙協約により外蒙が支那の支配を脱せし以來露人の勢力俄に加はり歐洲戰亂以前に於ては露人の居住者三千を越ゆるに至りしが開戰後漸次減少して現在の數となりたりと、支那政府は自國民保護の爲都護使なる者を駐在せしめ萬般の機關に備へ居るも活佛とは沒交涉にて双方共相關せざるものゝ如く活佛の勢力絶大にして支那都護使と面會せざるは勿論往年同地駐在の露西亞駐在總領事が

暫時の會談を
◆試みんとして十萬留を◆

費したりと云ふに徴しても其の一斑を知り得べし、されば活佛が時に喇嘛廟に詣でる如き事ありて市中を通行する時の如きは沿道兩側に蒙古兵堵列して他人の往來を許さゞる有樣なり、同地には宏大華麗なる二ツの大喇嘛廟ありて廟を中心に無數の僧屋周圍に建ち並び全居住の蒙人三萬の半ば以上は喇嘛僧なるを以て如何に喇嘛數の盛大なるかを窺に足らむ蒙人に對する行政は活佛總てを支配し信仰を中心とせる簡易法により佛前に年々貢分の供進物によりて活佛の費用に充て居れり、されば支那政府は全く無干涉にして露國勢力の加り居るは是非なき事なり、されど商業に至りては支那人の勢力偉大にして露人を浸蝕せる勢に在り同地の通貨は蒙古其の物の貨幣とては無きより、今日迄は殆ど露貨本位なりしが留の暴落と支那商人の勢力の加り來りたるとにより今は全く露貨に代るに大洋銀の硬貨が通貨の本位となり居れり、商業の殷賑なる何分

外蒙の首都にて
◆輸出入頗ぶる盛大なるが◆

戰前迄は露都より西伯利亞鐵道によりて露人の手に輸入せられ居たりしが今は全く其の途絶ね今日に於ては支那人の手によりて駱駝或は牛車等によりて張家口より輸入せられつゝあり一ケ年何程の量の輸入せらるゝや詳かならざるも冬期一ケ月間に於て來れる物は駱駝七八千頭に達せり一頭の運送能力支那斤の三四百斤にして其の主なる品物は粗布、茶、燒酎其の他の雜貨なり其の多くの製造元は日本人なるには聊か意を强うするに足る、輸出品は主として家畜より產る物にして羊皮、毛、駱駝毛、牛毛皮其他の獸皮類なり、蒙古人は貨幣の未だ必要を認めず其の多くは今尙物々交換なり、蒙古人は從來支那行商等に必要品を購んとすれば非常なる高價に賣付らるゝより自らも品物を硬貨に代ゆるには容易に安價には手放ざるも物々交換は實に容易にして又利益多し、目下同地に

居住せる邦人は
◆男子十三名、女二十一名◆

にして雜貨兼時計商(一)醫者(一)理髮商(一)洗濯商(二)料理店(二)なり支那人及び蒙古人共我が信用ある巨商の同地に店舖を開かれむ事を熱望し若しさる企てあらば家屋の提供其の他出來得る限りの便宜を與ふべしと稱し居れり從來露人の手によりて獨逸品は輸入一手の市場なりしが戰亂の結果邦貨之れに代り居る有樣なれば此際我が蒙商の平和後も動きなき根據を占め置くは今日にあるべしと思へり蒙人の主食は獸肉にして夜之れを食し朝晝は茶にミルクを加へたる物にチャウミ（日本の粟に類似せる物）とを併食し居れり支那人は生活程度は極めて低し家屋は少數支那人は煉瓦建なるも下層支那人及び蒙古人は土壁土屋根にして其の中に蒙人は家屋の周圍に木柵を廻らし土壁土屋根は夏季の住居となし冬期は彼の獸毛を固めたる蒙古包の中に住居する事となつて居て彼等は何れも二箇の住居を持つて居る、庫倫を

包める山麓には
◆圖拉河の清い流れがある◆

町より程遠からぬ地點に南牛山と云ふ松林もあつて風景も好く燃料等に不足を感せぬ都會である、氣候は冬の嚴寒が零下四十五度位春と秋とがなくて冬と夏との二期であるが活動するのには隨分有望な地である

◇重役室に於ける　片山鮮銀理事

露領の遺利と航行難
◆注目すべき米國人の放資と踏査◆

北滿方面より大連に除りたる某氏の談に曰く北滿の風雲は小康を得たる形なり獨逸も今や西部戰線に全力を擧げ露國方面は單に或る政策を執りて表面過激派を操縦し居るのみにて表向き局面に大なる變化を齎さゞるものゝ如し露國内に於ける獨逸勢力が過激派と結び愈々活躍するに至ると共に露國各方面に於ける反過激派も亦漸く其の羽翼を張らんとしつゝあり殊に西伯利亞に於ける反過激派は露國内に於ける各方面の反過激派中

最大有力にて
◆今後大に注目に値ひすべき◆

行動に出づるやも知れず聯合與國は之れに對して相當の援助を與ふるの義務あるものと云ふべきなり黑龍江航江權及び東部西伯利亞に於ける鑛山權の獲得は日本及び米國の共に注目怠らざる處にして米國にては既に大々的に各種の調査に取掛ると同時に多大なる資金を投下し着々効を收めつゝあり即ち以來米國が露國及び西伯利亞に放下せる資金は莫大にして其額確ならざれども東部西伯利亞のみにても米人の投じたる資金は十億磅を下らざるべしとの事なり黑龍江航江權は前露帝國時代より日本と交涉の行掛りあり是の際是非とも露支兩國人と同樣に航江權を獲得する必要あれど何分露國政府の近況にては其の協定の方法なきを以て或は

日支露三國當局
◆の間に於て假條約のかき◆

形を以て或る權利の授受を爲すに至るべしと思はる既に或る程度の交涉進捗を見たる筈なれど今は言明の時期にあらざるべし黑龍江航江に就いては我は單に經濟的關係にて政治上の意味を有せざるは勿論なれど目下米國に於ても亦此の方面に多大の注意を拂ひ其の政治家及び言論界は極東露西亞に對する日本の行動に就きては全く神經過敏に陷りつゝあるを以て其の誤解を受くるが如き拙なる行動に出づるは愚の至りなり去れば萬一我國に於て同江の航江權を獲得したりとするも勿論政府又は政府と特種の關係ある會社等に於て手を下すは策の得たる者に非ざるを以て

多分個人經營
◆に委せらるゝに至るべく◆

或は個人としても日支又は日露合辦の形を以て經營せらるゝに至るべし鑛山の如きも目下米國人は多大の資本を投じて露國人と合辦の名を以て經營に着手し居れるが北の資米人の買收したる鑛山は頗る多き模樣なり

怪しき者未だ無し
國境通過外人
◆この國の者が多く通るか◆

國境通過外人取締に關し新義州署にては發著列車每に井上警部停車場に出張して調査をなしつゝあるが未だ同驛通過の者に一人として怪しむべき者を發見せざるも何しろ昨今渡來外人は漸次増加の傾向を示すべく又た二三兩月間に於て南行せる外人百餘名を算せり而して是等通過者は主として露國人なりと(平壤)

石首魚のお影で
◆賑はふ蝟島の別天地◆
近年滅つ切り瀕れたる理由◆

全南靈光郡蝟島は毎年四月上旬より五月下旬に掛けて石首魚漁業盛んなるが其水揚高一漁期間二十五萬乃至四十萬圓に及び全南漁業の最たり而して本年も既に漁季に入れるを以て漁船は逐々同島へ蝟集し漁業準備を整へつゝあり盛漁期に於ては十數五百隻を以て數へらるゝ有樣なれば漁夫を目的とする

一時的出稼ぎの
◆飲食店及び料理店等◆

輩等も目下出稼準備を整へつゝあるが近來大日本水產、山神組、林兼組等の沖取引發達せし爲め漁船の多くは暴風雨に非ざる限り沖合に碇泊して蝟島へ引揚げず從つて漁夫の遊興も往年の如く盛んならざる爲め出稼ぎ料理屋飲食店酌婦の數も近年減少したりと

府營の大棧橋
工費金十一萬圓
◆將來釜山港の一財源◆
◆ある五六月には起工すべし◆

釜山府にては棧橋及び荷揚場の設置を可決し工費十一萬圓十五ケ年賦償却の低利長期資金の融通を得て着手の筈にて夫々稟請の手續中なりし而して之が事情具申の爲め京城に赴きたる若松釜山府尹は二十七日歸任したるが内務部及び度支部に於ても異存なく殊に工事費借入れに就ては度支部にて相當盡力すべき意嚮なれば資金の調達は案外容易なる可く而して鈴木長官は四月中旬歸任の途次實地を檢分し長官の同意を得ば最早確定したるものと見て可なるべしといふ右完成の上は釜山府民は勿論一般の蒙る利便多大なるべく而も市民は一厘金負擔をも爲さずして一定の年限を經過したる曉きに於て相當の收入ある財產を得る事なるを以て洵に喜ぶべき次第といふべく尙ほ該棧橋は縱橫とも擴張の餘地を存し築造埋立により第一期に約二千餘坪の土地を得るを以て貨物の集積にも利便あり尤も工事着手に就きては明言し難きも今日の成行にては遲くも五六月頃なる可く且つ該工事は可成的急設の方針なるを以て土木局に委託するに至るべしと

難工事の架橋

四鄭鐵道工事中に於ける難工事として目せらるゝは遼河上流の架橋工事にして昨年假木橋を架設して列車を運轉せしめつゝあるが本春解氷を俟つて本工事に着手する由にて橋脚掘附の爲め河床掘り下げはウォーターゼット式を採らんとて目下攻究中なりと(四平街)

京義沿線にて
投石頻々
◆一等の寢臺車に當る◆

近頃京義線列車に投石するもの頻々たるより其筋に於ても嚴重なる取締を爲しつゝあるが曩に内田大使一行の列車に投石せしものありて大騷ぎを演せし事は既報せしが又復三月二十六日午後九時二十分宜川驛着急行北行列車が宜川隧道の南方約一哩の地點を進行中何者か線路の右側より列車を目覘けて投石し爲めに一等寢臺車窓硝子二枚を破壞せしも幸ひ乘客は無事なりしが其筋にては目下犯人嚴探中なるが尙相當の取締を行ふべく協議中なりと(平壤)

滿洲日記　(二)
奉天にて　督軍生

青い蟇の御馳走
◆水原でお馴染のカムルチ魚◆
王室へ蝦蟆のソップ

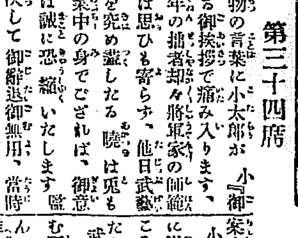
奉天の小東門外には支那の魚市場『魚行』といふがある、或る川魚屋の店頭に立つて水桶の裡をのぞいて見ると鯉や鯰がノロ／＼して居る、大きな桶の中を見ると朝鮮の水原の池『西湖』でお馴染のカムルチ魚先生、瓢者の著る大島紬のやうな大きな斑點の體でぢつとしてゐる、振りかへつて片隅の桶の中を見ると靑い蟇が二十疋もヨコ／＼してゐる、幾程かと訊くと十疋六十錢といふ、眞面目で『まけるよろしい』といへば美味いから抑々まからぬとの返辭、尤も日本でも東京あたりでは以前赤蛙を蟲の藥にした事があるが之れはまた惡食の振つた方、支那では廣東方面の人が蛇、蝸蝓類を食ふさうだが蟇を喰ふ滿洲人にも驚いた聞けば蟇（蛤蟆）はむかしから吉林の名物、清朝の時代には年々皇室に獻上したもので蛤蟆の湯（ソップ）は中々の珍味と稱せられてゐるといふ、ヒキを喰ふでもガマわんとはあきれカエル哩、呵々

台所　その日く
◇鯉の葛餡かけ◇

鯉の頭を左に腹を手前にして俎板の上に載せ鱗をふきて頭を切り去り腹をあけて臓腑を除き能く水洗ひし普通の切身にし水氣を布巾で拭ひまして蒸籠に並べ五六分間位蒸します次ぎに鍋に味淋を入れ沸立たせ酒氣をぬき醬油の煮出汁醬油等をよき程に加へよく沸立たつてゐる處へ葛粉の水で溶いたものを入れころ／＼さ二三回煮立せ濃いどろ／＼の葛餡を作ります以上出來上りましたら魚を皿に盛り付け濃い葛餡をかけて頂きます

塚原卜傳
第三十四席　悟道軒圓玉口演

山名監物の言葉に小太郎が小『御町重なる御挨拶で痛み入ります、未だ若年の拙者却々將軍家の師範などとは思ひも寄らず、他日武藝の蘊奧を究め盡したる曉は兎も角も修業中の身でござれば、御意に隨ふは誠に恐縮いたします』監『イヤ決して御辭退御無用、當時御邊に及ぶ程の武藝者、日本國中にあるべくもなし、就いては早速ながら拙者も執心でござれば、家中の武士共を召し寄せ置きましたに依つて一手お立合ひ下され、御技倆の神に入たる所を是非共拜見仕りたうござる、若者共の後學のため、此儀御承諾相願ひたい』小『折角のお言葉なれば御意に隨ひお對手仕るでござりませう』監『早速の御承知千萬忝けない……然らば只今道場へ御案内申すでござらう』と挨拶してスーッと立つて入つて行く、小太郎何思ひけんジッと其跡を見送つて居りましたが之れも微笑を洩らして居る、間もなく小姓が其れへ立出でまして小『此方へ……』と案内する、小太郎一刀を提げ立つて案内に隨がひ廊下へ出で奥の方へ二十間ばかり進んで行く、小姓は小走りに走つて突當りの板戶を開けて入つて了ふ、小太郎續いて入らんとする途端、バラ／＼と立顯はれた三人の武士、何れも弓矢を携へて左右に立塞がり、ガッキリ弓に矢を番へて滿月の如く引絞り、已に切つて放たんとする、小太郎其面を見れば先刻案内した三人の武士サテはと思ひ小『各々方は何故あつて此小太郎に鏃を向けらるゝや、戲れも事にこそ寄れ、飛道具にて勝負を望みたまふは近頃大人氣なき擧動……』武『默れ小太郎我々共は勝負は望む所にあらず、汝の一命を申受けんためなり、鬼神といはるゝ汝とて雖も飛道具には叶ふまじ、及ばぬ處と觀念して潔よく一命を棄てろ』と同音に呼はりつゝ鏃を揃へて進み寄る小太郎一刀に手を懸け小『さてこそ察するに違はず汝等は岩成主税助が一類小太郎を欺いて此所に引寄せ卑怯にも飛道具を以て討取らんと計つたるよな、イデ其儀なれば片端より汝等の素首斬並べて一期の思ひ出死骸の山を築いて呉れん』武『小癪な一言、ソレ』といふより早く引絞つたる半弓、弦音高く切つて放つ、小太郎一足退つて一刀拔くより早く飛來る三本の白羽の矢を手早く其れへ切つて落した目にも止らぬ早業です、之れこそ先年尾州熱田にて小笠原丹波守より口傳を受けたる矢止めの術、雨の如く降つて來る矢先を一本の棒で拂つて身に當てぬといふ玄々妙々の秘術であります、一の矢を切落されたから手早く二の矢を番へんとする所を飛鳥の如く飛込んで持たる弓を切拂ひ返す刀で眞向を割付けた、アッと一聲打倒れる、殘る二人が弓矢を投捨て刀の鞘を拂つて左右から斬込んで來るを睨さず拂ひ退けて右と左へ斬倒す、途端に板戶の内から立顯はれたは最前の山名監物と名乘つた人物本名岩成主税助左近、大身の槍を引提げて居る後ろには進藤三彌南蠻鐵の短銃を携へ、小太郎の前へ進んで筒先をピタリと付けた小『ヤア汝は山名殿の名を詐し岩成か、また一人は先日木屋町にて面會したる進藤三彌、さては其日の遺恨によつて拙者を引寄せ討たん所存、卑怯未練な今日の有樣假にも將軍の近臣たる身にてありながら武門の耻辱と思はざるか』主『控へろ小太郎、此岩成が執心懸けたる女を汝が勝手に身請をなし、岩成に耻辱を與へしのみか、機會あれば山名細川の如きに取入つて我黨の妨げをなさん所存此岩成が眼力にて見破つたり、汝の卜洛將軍の耳に入り武藝の師範とも相成らば目の上の瘤同然、此場に引寄せ討果たし、枕を高く寢る左通、及ばぬ所と覺悟をせよや』と



四月四日九星
舊二月廿三日辛巳　本命三碧東滿赤口

[illegible]

四月五日九星
舊二月二十四日壬午　本命四綠 平 先勝

[illegible]

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番
[illegible]

壽座　京城壽町　電話五七八番
[illegible]

黃金館　電話二三六六
[illegible]

壽館　京城本町　電話一〇五〇
[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三
[illegible]

演藝案内
有樂館　活動寫眞常設館
[illegible]

謹告
拜啓昨夕ハ御多忙中殊ニ雨天ノ爲メ道路惡シキニモ不拘遠路御來會被成下勝手ナガラ以紙上テ御禮申上候
大正七年四月二日
明治町二丁目　高麗商會

汽車

懸賞!!!

本頁掲載の廣告は孰れも有名なる商店の廣告であります。此中何の廣告が一番諸君の御注意を惹きますか。意匠の一番良いと思はれる廣告を一つだけ左記投票規定御覧の上御投票下さい。一番投票の多かつた廣告に投票された方へは一等賞品、二番目に投票の多かつた廣告へ投票された方へは二等賞品同じく三番目の廣告に投票された方へは三等賞品を抽籤の上差上げます。

廣告代理業 大阪市東區高麗橋四丁目 萬年社

賞品!!!

壹等(二人) 金拾圓勸業債券
貳等(三人) 金五圓貯蓄債券
參等(十人) ピース萬年筆(定價一本金四圓)

投票規定

一、投票又は廣告の品名と店名と(店名記載なき分は此限にあらず)其廣告を見た新聞名と及び投票者の住所姓名を明記する事
二、投票は葉書を用ひ一名一種に限る事
三、宛名「大阪高麗橋四丁目萬年社懸賞係」とする事
四、投票期限は大正七年四月十五日限り
五、入賞者は四月廿日の本紙に發表し同時に賞品を贈呈す

純飴色マシーターヤイ 商標 登録 堅牢無比 NOT THE TYRE
リーブル号自轉車
大阪市東區南久寶寺町二丁目
眞島號自轉車商會
電話長堀二二三五番 振替大阪九四一三番

セル 英子ル 新荷着
御中元贈答用品御便利
擴築ニ付 至急店員入用
一、貳拾歳前後五名
一、拾三歳以上拾七歳迄七名
履歴書携帶本人面談地方は最近寫眞履歴書添付右至急入用十分好條件御相談致候
大阪市心齋橋周防町角
小原子ル店

在庫品豊富
白銑鐵
大阪市外城東鴨野
實製鐵所
月四百噸以内契約可能
電話浪江五五番

日本一のボートワイン
一杯滋養の花を開き 二杯健康の實を結ぶ
全國到る處和洋酒店食料品店藥店に販賣す
發賣元 松下善四郎 大阪高麗橋

ローヤルハーブ石鹸 香水
發賣元 平山商店

紋帶側・友涼帶側
御半えり
大阪心齋橋 えり德

大阪 東京 潮谷商會
今年ハ何處ノ吳服店、洋品店デ見テモ
「蝶矢印」ノマドラスシヤツトゼフアーシヤツバカリダ

鋼管 引拔
株式會社 鋼管商店
大阪松島橋東詰

十合 洋服
大阪心齋橋筋 十合洋服店
振替大阪八二九五

自轉車・自動車部分品卸
杉景太郎商店
自轉車部
大阪西區今田三番町 電話西一四〇一一二

紳士用 十八金時計 金三十三圓以上
御婦人用 十八金時計 金二十八圓以上
弊店輸入の時計は粋の粋たる舶來の逸品貴金屬品は弊店獨特の精巧優美なるもの夥多取揃へ居候間何卒御用命の程願上候
石原時計店
大阪心齋橋
電話南二二三・二二三番 振替大阪一〇九六番

夏物全部品揃
大阪本町 綿布卸問屋
西健商店

花は櫻 帽子は鷹印
各地で販賣す

効果的確にして消化器障碍なく 純國產なれば價格從て低廉なり
ゴノサルビン
白檀油代用藥
大阪市外中津町光立寺 發賣元 三友製藥合名會社
特約店 大阪道修町 武田長兵衛 東京本町 小西新兵衛
文献見本醫家に限本社より進呈

國產 葡萄酒召すなら、ホンモノを
ポートワイン
花屋の葡萄酒 シヤンパン
(テーシー印)
全國到處ノ洋酒食料品店及藥店ニ販賣ス

現金問屋
蜂印メリヤス品揃
大阪市南本町四丁目
中川伊作商店

慈善 高等 券附
仁德石鹸
一度使へば玉子で洗ふたより以上の効能ある石鹸!
見本御入用の方は廿錢を御送付
大阪久寶寺橋西詰 發賣元 堺新聞業部
電話南二二一一 振替九〇一四

勤儉
勤儉足袋
兵庫縣明石郡垂水
田中商店
電話舞子一番 振替大阪九四六九番

大阪株式取引所仲買人
七田庄店
大阪市東區今橋二丁目
電話本局長二一五二•二三一六•五三一七六
市況週報進呈仕候

馬首印前掛セルシヤ
不眠不休の努力は斷じ而必ず勝つ
馬首印前掛本舗 大阪道修町四丁目 電話長本三二一五 振替大阪二〇八一
小寺商店營業部

戰に倦んだ頭腦の疲勞も
ユニオン香水
の一滴で忽ち身氣爽快!!
歐米雜貨輸入卸商
大阪東區安土町二丁目 末森本店

半田錫
堤製造所
大阪市三休橋南詰

宮内省御用達
三ツ矢サイダー
平野水
コローナ
帝國鑛泉株式會社

三羽鶴タオル
高いものは安いもの
品質優良 耐久力無比

第五版

京城日報

四月三日朝刊
（夕刊併せて八頁）

神武天皇祭

神武天皇、國內平定を思立たせられ、日向の高千穗の宮を發して大軍を東に進め、行く〳〵不[illegible]無告の衆民を愛撫し、終に攝河紀和の地を定むるに及むで大和の橿原の宮にて卽位し、天壤無窮の皇基を開き、皇謨を樹て、擧國の丕業を完うし、聖壽百二十七にして登遐し給ひしは、正に二千五百有二年前の今月今日に當れり。東向百拜謹で敬意を捧げ奉る。

惟ふに我國體の精華は、世を經るに從うて其光輝を增し、殊に明治以來、屢國難を凌ぎ、國威維揚り、萬邦瞻仰、欽羨措かず近年、歐洲の戰亂は、東西各國をして、悉く其操守を變へ、思想を革めしめ、是非善惡地を代へんとするに方り、獨り我國は東海の表に屹立し、忠孝仁義の國として、千古不易、人類の福祉を集めたるの感無くんばあらず。若し獨墺等敵國にして國際の信義を重んずること我國の如くんば、何ぞ無數の生靈をして彼の惨禍を蒙らしむることあらんや。或は又露國民にして忠直自制、切めて我國民に肖かりたらんには其が混亂の現狀は寧ろ夢想だに及ぶ處にあらざるべし。最近西電は佛獨國境の戰線に於る英佛軍の苦戰を傳ふ。然れども一氣にして之を擊退し能はざるのみならず、戰況淘に憂慮に堪へざるものあるを覺ゆ。英佛の將士、素より祖國を愛し、强敵に對して祖先の名を辱しめざらんことを誓へり。而かも其抱懷せる思想は、一身の利害を超越することを無し、彼等にして忠孝の至誠發露するの時、命を鴻毛の輕きに比する我將士に儔ふあらば、佛獨戰線の事、豈憂ふるの要あらんや。更に支那の國情を見るに、北方は南方を虐げ、南方は北方を呪ひ、心有る者をして、仁義の國に仁義同きを嘆せしむ。我國に在りては今上陛下、皇祖皇宗の遺訓を紹ぎ、躬ら萬民を率ゐ給へば、我忠孝仁義の教は、世界人類思想の淵源と成り、萬國共慶に賴るの日あるべきを信ず。皇祖の聖靈庶幾ば照覽あらせ給へ、謹みて白す。

西部線の酣戰

去二十一日以來、獨軍西部戰線に於て大攻勢を取り、如何なる犧牲を拂ふも其勝敗を決せざれば已まざるの意あり、英方は豫じめ之を知りて此に備ふる所ありたれども形勢不可なるものありし爲めに其前線より撤退したり、今日戰鬪方に酣にして其歸結未だ知るを得ざれども、其經過は決して味方に利ありと云ふべからず。獨軍の目的は、英佛軍の連絡點を突破して英軍を西方に壓迫するにあるべく味方は假令一旦退くも若し能く其連絡を保ちて敵軍をして其力を銷突に盡くさしむるを得ば、是れ又一大成功たるを失はざるなり。

此度の西部戰線の戰鬪は僅々一週日を出でずして、昨年味方が克ち得たる陣地を失ひ、剩へソンム河の南北に於て强壓力を受く、其形勢甚だ懸念すべきものありと雖も、外國電信の報ずる所を以てすれば、英佛兩國民は極めて冷靜にして甚だ其心を動かすものなしと云ふ、蓋し此方面の戰鬪に於て獨軍の攻勢猛烈なるに相違なしと雖も、卽ち是れ最後の死力を致すものにして、其力盡くるときは彼自ら潰滅すべく、敵の攻進力の限りあるとば英佛國民能く之を知るを以て、一方面の一時の消長を以て其心を動かすに足らずと爲すに由るべし、其一例を擧ぐれば、西部戰線の英佛軍退きたりと聞きて紐育の株式市場は忽ち騷動を見めしたれども、倫敦の株式市場は却て平靜にして、些の影響を受けざるを見ても、英吉利國民は深く自ら信ずる所あり、大勢挽回決して難からずと爲すに是れ出るや言を待たず。

且獨逸は此方面の戰鬪に於て、一度は其力の猶ほ用ふべきものあるを示したれども、其力は則ち死力なり、彼や全世界を敵として奮鬪すること此に四年、其國力疲弊を極め、其國民亦平和回復を願ふこと甚だ急なり、從て若し爲政者にして速かに其事を決せざるときは到底革命又は內亂を招致せざるべからず、加之、其兵員足らず、軍資軍需品亦盡く、卽ち是れ今日に及びて乾坤一擲の大攻勢を敢てせざるべからざる所以にして、彼が[illegible]以て第二の露西亞たらむよりは、寧ろ進みて西部戰線に萬一を賭すに若かざるなり。從つて此一戰に敗るゝときは、獨逸皇帝は甘んじて其佩劍を連合軍に捧ぐるの覺悟あるべく、假令自ら敗れざるまでも、英佛軍能く防ぎて其連絡を保たば、獨逸は急遽和を講ずるの策を求めて、其間に自ら救はむとするや論なきなり。

然れども獨逸の都合は、他人の問ふところにあらず、我協商國としては飽まで持久の計を定めて、徐ろに敵の自ら潰滅する事を待つの外なく、少くとも北米合衆國をして其二百萬の兵員を陣頭に整ふるの時間を有せしめざるべからず英佛軍其地歩を保ち、新たに米軍の至るを待ちて西部戰線より席卷するあらば、中央歐羅巴諸國の事度を定むるは其の意のまゝなり、此獨逸が全力を傾到して攻進し來れるが如きは、則ち偶ま味方の爲めに、其體軀を捧げ出し來れるものに外ならずして、魚は躍て俎上にあり、復た甚だ之を料理するに便なりと謂ふべきなり。

神武天皇尊像

英米に於ける製鐵業の趨勢（一）

一、緒言

我國近年工業の發達に伴ひ鐵材の需要漸く增加し來り殊に歐洲戰亂の影響は造船業其の他諸工業に未曾有の活況を呈せしめ鐵類の需要頓に激增するに至りしが今世界に於ける銑鐵の產出額を見るに左の如し（單位千噸）

	一九一三年	一九一四年	一九一五年
米國	三一、四六〇	二三、七〇〇	三〇、四〇〇
獨逸	一九、三〇〇	一四、四〇〇	一二、〇〇〇
英國	一〇、三六〇	九、一〇〇	八、八〇〇
佛國	五、三〇〇	五、〇〇〇	一、四〇〇
露國	四、五〇〇	四、三〇〇	四、七〇〇
伊國	二、四八〇	一、五〇〇	—
墺國	二、三七〇	二、〇〇〇	一、六〇〇
其他	三、三〇〇	二、八〇〇	三、一〇〇
計	七九、五〇〇	六三、六〇〇	六三、五〇〇

にして我國の產鐵も比年增大し大正六年に至ては銑鐵及び鋼鐵を合せ六十二萬噸に達したりと稱せらるゝも而も之のみにては到底我國に於ける鐵の需要の一半をだに充たすに至らざるを以て從來より之が補給を外國に求め主として英米兩國及び支那より輸入し其の額大正六年に於て約九十萬噸に上るに至れり卽ち左の如し（單位千噸）

	產出額 銑鐵	產出額 鋼鐵	產出額 計	輸入額 銑鐵	輸入額 鋼鐵	輸入額 計
大正元年	一七四	二二〇	三九四	二二三	三七六	五九九
同二年	一九二	二五五	四四七	二五二	四四五	六九七
同三年	二三四	二六〇	四九四	一七三	三六八	五四一
同四年	二九〇	三二五	四二二	一七三	三二三	四九六
同五年	一三〇	三四〇	四四〇	三二七	三四〇	六七〇
同六年	一五〇	三七〇	五二〇	三三〇	三六〇	六九〇

然るに此の時に當り突如として英米二國の鐵材輸出禁止に遭遇し今や製鐵自給は我國の一大重要問題たるに至りたるが之と同時に戰後世界に於ける鐵材需給の關係は亦看過すべからざる所なるを思ひ以下最近倫敦『スタチスト』誌及び倫敦『タイムス』紙に依り英米二國に於ける製鐵業の趨勢を示さんとす

製鐵業が世界の製造業中に於て主要なる地位を占むるに至りたるは必ずしも現戰爭の結果に非ず何となれば現戰爭以前既に嶄然其の頭角を現はし十九世紀の末葉に於ては其の資本金額に於て其の職工數及び賃銀に於て其の他經濟上重要なる點に於て殆ど織物業と相拮抗し現戰爭勃發の頃に至りては遙に之を凌駕するに至りたれば世界の鐵消費額は十年每に五割の增加を來し居れり而して每年の銑鐵產出額は七千萬噸にして其の輸出額は器械類を除くも一年約一千八百萬噸其の價額は二億磅なり之に器械類を加ふるに於ては更に約一億二千萬磅の增加を見るなり斯に對する世界の需要は其の增加の急速なること到底需給の貨物の企及し得る所に非ず而して爰に注意を要する一事は右莫大なる鐵產出額及び鐵輸出額中其の八割を占むるものが實に英米佛の三國なることと是なり現戰爭は鐵の戰時工業に於て重要なることを平時に於けるに比して一層大なることを示したり現戰爭の初期に於ける英獨兩國軍事上の勢力が多大の懸隔を示したるは何人も熟知する所なり而して其の勢力の懸隔は或程度まで鐵の產出額に比例す蓋し開戰前に於ける獨國の鐵の產出額は一千九百萬噸なるに對し英國は七百七十五萬噸に過ぎず兩國は既に其の出發點に於て此の懸隔を有したり加ふるに獨國の占領したる佛國の北部地方は一年の產出額三四百萬噸の多きに上る產鐵地方なりき今日聯合國は三四百萬噸の鐵を米國より輸入し居るも而も距離の遠隔海上の危險等之に伴ふ諸多の不利益あり是れ兩國の戰場に於ける懸隔を益々多大ならしめたる所以なり當初英國をして機械力の重要なるを認識すること敢て獨國に後れざらしめんか英國は今日此の噬臍の悔を貽することなかりたるべきなり世界に於ける鐵の需要が戰時の今日よりも戰後に於て更に多大の增加を見るべきことは何人も首肯する所なり蓋し何人と雖も戰後鐵道及び船舶建設の增進、戰時繰延べたる新築改築及び修理工事の著手、兵燹による諸大都市の回復、食料充足の爲め農業の發展を必要とするに伴ひ農具の需要增加、更に勞力の不足と賃銀の騰貴とが極度に人力を節約すべき機械の使用を奬勵するの趨勢ある等此等諸種の情に考及するあらんか思ひ半に過ぐべければなり戰後鐵が今日以上に重要視せらるゝに至るべきは更に疑を容れざる所なりとす

小說戲曲一斑（五）

於京城俱樂部　今關天彭氏談

小說は淸朝に入つてます〳〵流行して居ります。淸朝の初期には李笠翁といふ作者が出て、勸善懲惡の意味を敷演した短篇小說を書いた。その最も現はれたのは十二樓である。これは樓に關する事柄を十二ならび出し、それにいろいろ脚色を施したので、一名を覺世名言と云つて居る。着想がなかなか奇拔だ。乾隆より嘉慶に至つて紅樓夢が出た。これは百二十回程どある大小說で、支那小說中の第一と稱せられ、金瓶梅のやうに純然たる人情小說であるが、金瓶梅のやうに卑猥に陷らず、まことに上品な書き方であつて、丁度內地の源氏物語のやうなものである。其大要は賈氏といふ貴族の家庭內に起つた事を書いたもので、男の主人公は寶玉と云ふ少年の貴公子女の主人公は賈府の姻戚に當る林氏の子黛玉で、この林黛玉、卽ち林姑娘は、今日でも支那人の理想とする婦人である。またこの外家庭に於ける貴婦人のモデルとも稱すべき薛寶釵があり、これ等を中心にして周圍には美しい大勢の丫鬟があり、この外種々雜多の人物が出て場面を賑はして居る。この小說が一たび出るや、一世の歡迎は驚くばかりで、家具、庭園、衣服、食物なども、すべてこの小說に書かれてある影響を受けるやうになつた。今日でも依然としての流行は衰へぬ。私の先輩は嘗てこの書を評して、支那人を衰亡させたと云つたことがあるが、まことに適評であるのである。現代の支那を知らんとするものは、ぜひ是れを一讀せねばならぬ。

淸朝はこの外科擧の試驗の內面を書いた儒林外史、相公卽ち俳優の生活を書いた品花寶鑑、また官吏の內面を書いた官場現形記、または紅樓夢に對して書いた兒女英雄傳などがある。淸末となると西洋小說の飜譯が流行して探偵小說、冒險小說などが現はれて居たが漸次歷史小說、人情小說が行はれ今度は外國小說の飜譯時代を脫しつまさに創作の時代に入らんとしつゝあるのである。飜譯小說の大家では林琴南が第一だ。この人は外國文字を解せぬさうだが、人に讀ませて筆を執り、晉學の素養に深く詩文の才に富んで居るから、目下南方で非常な名譽を馳せて居る。また小說專門の雜誌も數種ある。小說海、小說月報、小說時報が卽ちそれで、讀者も多數に上つて居る。

日報詩壇

倣木石詩會　江原　如水

潑墨春遊、閒遊鷗鷺齋、豆入橋上渡、寸馬柳陰嘶、丘壑千尋時、雲煙咫尺迷、諸君作訓石、我亦[illegible]。

評曰、盧描寫實、筆無不如意、七八歲得意之處。

豆腐　齋藤　三寅

霜質冰姿淡且涼、淡存禪味味殊長、媼頭溫酒鼓吟興、心似玲瓏夜月光。

評曰、形容亦妙。

悼某夫人逝去　大久保曉香

天何酷、地何沒、君子淚盈掬、逆知兒女淚如潮、誰爲君子寄室家、誰爲兒女任鞠育、于嗟乎天不語分地不言、空使人間香。

評曰、哀悼悲痛、讀者亦掩眼、所謂深入無淺語者。

鐵山寺曉望　森下　半狂

折戟沈沙鐵鐵湖、前朝山寺曉鐘鳴、未看陵上蒸翁影、古渡輕煙一鶴呼。

評曰、悵然置身於其間。

祝櫻下先生同甲壽席賦呈　大垣　金陵

年年健在、樂無邊、花甲周來世一新、宇內兩極動星壽、九如歌南極頌、鳳翔爭獻、瑤琴奏古雅、冠岳漢江無盡壽、盃春酒介眉延。

評曰、脫口成篇、文順字從。

豆腐　大石　松逕

截乳最宜貧士餐、淡中滋味特堪歎、夏凌冷水驅炎熱、冬上膜爐防夜寒。

評曰、質得穩妥、得對太佳。

牧馬圖　高田　小芥

龍驤仰脚草茵茵、識是沙場百戰身、十二天閑酣惠養、華山靜臥太平春。

評曰、悠然寫出中見作者身分。

廣島市天神町
醸造用具商　兒玉商店
長電話七四四番　振替大阪壹四貳七番

業務擴張の爲め左記の處へ支店を設け一層勉强致候何卒倍舊の御愛顧奉願候
大阪市東區北久太郎町四丁目
兒玉大阪支店
長電話東一五八三番　振替大阪四〇六六八番

農業之研究
景品付時計其他二百名限　振替東京二六六六　東京本所長崎町　農業研究會

不動產賣却公告
京城府黃金町二丁目南大門通二丁目
明治町一丁目所在
一、土地約五千五百五拾七坪
一、同地上建物
但數區ニ分割ス
右賣却ス買受希望ノ者ハ當職會計課ニ就キ入札心得書契約書案及圖面熟覽ノ上來ル四月二十五日正午限入札書ヲ同課ニ差出サルヘシ卽時開札ス
大正七年四月一日　李王職

中外新論　春季擴大號
時局の急轉と日本の危運　小松緑
◇支那人の道德觀念　服部博士
◇露國の民族的分裂　米田庄太郎
◇今議會の國防に及ぼす影響　佐藤鋼次郎
◇露獨單獨講和批判　長瀨鳳輔
公設市場に就て　河津博士
◇駐外使臣の移動…北浪漁史
◇故押川と其後任…白頭山人
野に下れる田尻博士　勤崎謙城
出兵贊否論　寺尾亨
中野正剛　松山忠二郎　三井甲之
今議會の國民生活に及ぼす影響…小山東助
◇敎界時評（熱罵五項）…高島米峰
小說　高瀨と愛人　谷崎精二
政治小說　嵐の如く　齋藤弔花
小說　お三輪　水野仙子
小說　法學士の大藏　岩野泡鳴
名士の愛讀五書　桑木嚴翼
岡村司、花井卓藏、河上肇、北昤吉、建部遯吾、三井甲之、坂口昂、末廣重雄
奇人變人（レーニン、トロツキー）　仰天子
◇民衆藝術論…松崎天民
櫻の旅（鏡王堂の花供養、延元陵の春雨、初瀨）　遲塚麗水
◇雅號から見た朝野名士　素川
細君操縱策　岩野泡鳴　新渡戸博士
眠らずに過されるか　醫學士　小山田謙
露國前皇后の榮枯
紅顏白頭卅年奇遇　子爵　渋水
擴大號　本號定價五十錢　郵稅三錢
東京市芝區愛宕下町　中外新論社　振替東京三六五〇〇番

簿記　通學生　寄宿生　校外生　募集
私立　日本簿記專修學校
東京芝區櫻川町十一番地

最新刊

生徒募集
私立　實修裁縫學會
京城

公示催告
大正七年中第四七七號
京城府永樂町二丁目二十四番地　申立人　吉田九助
一、荷物引換券　壹通
右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ大正七年十月二十二日午前九時ノ公示催告期日迄ニ當院ニ右證券ヲ提出シ其權利ヲ屆出ツヘシ若シ屆出ヲ爲サヽルトキハ右證券ノ無效ヲ宣言スヘシ
大正七年四月二日　京城地方法院

大阪屋號　菊苗
大阪府天下茶屋區內　猪子園

貴紳士用實用懷中時計　大安賣
京城本町貳丁目　村木時計舖
電話四七〇番　振替京城三二九〇番

◎敵二師團全滅

モチヂエ東南十二粁なるオルヴィレ及びルブルモン、ブレシ、ドロア等にて激戰行はれ敵の二個師團は我步兵隊の勇敢なる突擊に依り擊攘され全滅の非運に陷りたり 獨軍參謀部は此上尚數日間其猪突的攻擊を續く可きも今日迄の成績に關し吾人は敵の計畫が失敗に終る可きを確信す（巴里電報）

◎英國皇帝戰線訪問

英國皇帝は三月二十八日倫敦出發 西部戰線の軍隊を訪問し三十日倫敦に歸還せり（倫敦電報）

◎全米軍をフ將軍の麾下に
パーシング將軍の懇請

佛國のフオツク、ペタン兩將軍、クレマンソウ首相及び米軍指揮官パーシング將軍は戰線にて會見を遂げたり、パーシング將軍はフオツク將軍に敬意を表し在佛米軍全部をフ將軍の麾下に置き意の如く使用せん事を請ひ且つ嚴命して曰く有史以來未曾有の大戰鬪に參加するは米國民の頗る誇りとする處なり（巴里電報）

◎捕虜交換協約締結

中歐諸國と羅馬尼との間に捕虜交換協約締結され獨逸捕虜は二十九三十の兩日に亙り獨逸に引渡さるゝ筈なり（倫敦電報）

◎又復過激派の橫暴
邦人等壓迫に堪へ得ず引揚ぐ

武裝せる獨墺俘虜を載せたる列車又復客月廿八日西方よりイルクツクに到着せり過激派間諜の黑河に入り込む者多く廿九日以來過激派は日本人のブラゴエ市より荷物を黑河に運ぶを拒み日本人に對し不穩の亂動を爲す事甚しく又アレクセースクの日本人も過激派の壓迫に堪へ得ず黑河に引揚げつゝあり（哈爾賓電）

◎鐵道員動員と決議

イルクツク新聞所報に據ればタウリヤ方面の形勢に關しザバイカル鐵道北行從業員の檄に應じ同鐵道テツタツスキー、サザエド、ヒロタ驛及び其他の驛に於ては十八歲乃至五十歲の者の動員を行ひ每日一定の教練を行ひ以て積極的行動に出づ可き旨を決議せりとの事なり右に關し社會革命黨に屬せる同地鐵道從業員約一千名は二十六日の集會に於て反過激派に對する防禦は各民種の提携を必要條件とし是れが爲めには各民種間內部の紛爭を止む可く赤衞軍の編成は是れを專門家に委任し絕對に强制を避け義勇兵を以て編成すべく決議を爲したり（哈爾賓特電）

◎張勳特赦未だし

徐州鎭守使張文成氏より政府に對し嚮きに張勳氏の特赦を請ひたるが政府は詮議の結果張氏は外國關係もあり他の復辟犯と異なり未だ特赦の時機に非ずと言明せり（北京特電）

◎米領事著任

イルクツク三十一日發杉野副領事發電に據れば同地及びチタ駐在を命ぜられたる米國領事は既に夫々著任せるがオムスク、トムスク、クラスノヤルスクにも近々同國領事著任の筈なりと（東京特電）

◎湯林氏東上

支那前內務總長湯化龍、前司法總長林長民兩氏は二日午後零時十分東京驛著、犬養毅氏等一百餘名の出迎ひを受け帝國ホテルに入れり（東京特電）

◎海外商品陳列館設置準備

今期議會の協贊を經たる海外商品陳列館設置に關し農商務省にては新嘉坡、滿洲里、哈爾賓を建設地として夫々準備中なるが新嘉坡の

分は既に其の主任者を井上學士に委囑し目下建設準備中也（東京特電）

◎高等普通教育 主查委員會

高等普通教育改善に關する主查委員會は二日午後一時より首相官邸に開會主として中學校の各科課程整理其他に關する事項を附議せるも何等決定するところなく散會したり（東京特電）

◎辭令

二日左の通り辭令ありたり（東京特電）

陸軍中將 豐邊新作
豫備役被仰付
海軍機關少將 外波辰三郎
免吳鎭守府附
補海軍煉炭製造所長

◎北京農業學校生

北京農業專門學校生徒十五名は職員引率し二日朝奉天直に安奉線にて朝鮮經由內地視察の爲東上（奉天特電）

◎木浦出議會頭

木浦商業會議所會頭補缺選擧にて木村健夫氏當選せり（木浦特電）

◎資金集散豫想

鮮銀調查局の調查に係る四月中の朝鮮內資金集散豫想は收納に於て關稅收入七十一萬一千四百七十五圓五十錢朝鮮紙株式會社外五社の株金拂込み四十八萬二千五百圓計百十九萬三千九百七十五圓五十錢にして一月以降の累計は六百五十八萬三千三百二十五圓五十錢となり散出は府債の償還三十三萬八千圓府債利拂ひ二萬三千六百六十圓群山水產外一社の利益配當一萬四千五百圓勸業債券利拂ひ二千八百四十五圓三十錢合計三十七萬九千零五圓三十錢にして一月以降の累計は二百十萬八千二百八十四圓八十五錢となる由

◎穀物商聯合會起つ
大阪に於ける鮮米格附問題に就て

朝鮮穀物商組合聯合會にては最近會議所に理事會を開き內地米穀市場に於ける鮮米格附外數件に就き協議せしが

▲鮮米格附問題 並に聯合會の措置に就き聯合會某理事は曰く朝鮮產玄米の大阪市場に於ける受渡しは其の格附が正米市場に於ての差より以上の低率を以て取扱はれつゝある如し如斯は鮮米取扱業者として甚しき不利の狀態なるのみならず已に朝鮮に於ては各道に亘り米穀檢查の普及をなし著しく米質の向上を來し居るに付依然として舊狀態の取扱ひを受くる事は內鮮經濟上

▲多大の支障 あるは疑ひを容るゝの餘地なし然るに前期定期米市場に於ける鮮米格附の標準が如何なる程度に於て行はれつゝあるかは的確なる成文に於て承知の途なく全く市場に於ける檢查當事者の手加減にある事と思はる依つて之等正確なる事實を知悉するため先づ大阪定期市場に向つて約三百石の鮮米賣立てをなし朝鮮玄米各五種五十石宛及び內地米の標準に近きもの五十石の現品受渡しを行なひ事實の上に定期取引所の格附表を得る事となり右に就きて聯合會よりは大阪朝鮮貿易商同業組合長庄野嘉久藏氏に依賴狀を發し更らに

▲四月上旬 理事竹中氏上阪する筈なり尙ほ移送玄米は左記各地產なるが若し大阪市場に於て右定期受渡し米を正米の格差より格下げせし場合は敢然起つて相當の處置をとる事となり居れり

釜山（慶南產）三等五十石
木浦（全南產）同
仁川（忠南產）同
群山（全北產）同
南浦（平南產）同

◎滿洲宛集金郵便改制
一般の注意を望む 矢野監理課長談

關東都督府に於ては四月一日以降同管內に宛てたる集金郵便に就ては居宅取立をなさず總て郵便局留置となし受信人の出頭を待ちて

▲郵便局窓口 にて集金をなすこととなれり即ち都督府管內宛の集金郵便は總て留置に非ざれば取扱はざるものなるに付同管內宛の集金郵便を委託するものは必ず受信人に對し集金郵便をなした旨特に通知をなすの要あるべし蓋し同管內に於ては集金郵便の取立不能のもの甚だ多く往々取立の督促を受くる公衆をして迷惑を感ぜしむることあるのみならず取立不能の爲め集配人の徒勞たるや少なからざるものあると其他種々の理由に依り遂に滿洲內郵便規則を改正し集金郵便の居宅取立をなさざることとなれるものなるべし

▲集金郵便 の制度は若し完全に取立をなし得るときは利便なるも取立不能或は支拂拒絕等の場合頗る多きときは却て委託者の不便となることなしとせず英國の如きは今猶集金郵便の制なきものなり尙ほ朝鮮に於て現行法を改正するや否やは目下の所何等問題となり居らず

◎罌粟栽培及阿片取締

罌粟栽培及び阿片の取締に關し當局者の說を聞くに阿片を取締る爲めに付其の原料たる罌粟栽培の取締りを必要とするは論ふを俟たず然るに朝鮮は國境隣接地たる支那及び露領に於て取締りの充分行はれざるに乘じ密かに罌粟の栽培行はれ其の收穫せる阿片汁は

▲朝鮮地境に 密輸入せらるゝ處あるを以て國境地方に於ては特に嚴密なる取締を爲しつゝあるも罌粟の栽培は何時しか國境を超へ朝鮮內邊陬地に於ける森林原野中に於て密かに之を栽培する者在るに至れり然るに此時阿片の騰貴に伴ひ更に普通畑地に於て罌粟の栽培を企つる者あるを以て地方に依り警務部長の許可を受くべき規定を發布し居れるが民間には之を誤解する者ありて近時罌粟栽培の出願頻出し中には未だ許可なきに既に資金を投じて栽培の準備を爲し或は已に播種したる者あるが如し元來罌粟の栽培は之に依り醫療用品たる阿片の原料を採取するものなりと雖も朝鮮に於ては阿片に關しては上述の如き

▲特別の事情 あるが故に當局に於ては目下之が栽培は殆んど絕對に之を禁止するの方針を執り其の之を許すものは藥劑師にして自ら製藥の用に供することの確實なる場合の如きに限るものとす唯單に賣買に付契約證ありといふ如き理由に依りては之を許可するものにあらず又罌粟の汁液は藥品令に所謂藥品に非ずとし從て之が販賣は同令の制限を受けざるものゝ如く誤解せる者あり藥品令に所謂藥品には獨り醫療用のみならず化學及び工業用其の他一切の藥品を包含するものとす故に罌粟汁は其の乾固したると否とを問はず藥品令の藥品中に包含せらるゝものにして藥種商に非ざれば販賣すること能はず加之藥品及び藥品營業取締令第十七條の規定に依り

▲廢棄處分を 受くべきものなり尙許可を受けずして栽培したる場合阿片を採取したるときは阿片煙に關する犯罪として檢擧處罰せらるゝ事を注意するを要す

◎沃大鐵道工事

京釜線沃川大田間鐵道改良工事は大正六年九月中白川組の拋棄に依り遂に中止となり當時工事に當れる者及び沃川大田附近居住者一般に損害を蒙り紛議を釀したりしが最近龍山出仙組に於て殘工事を七十九萬餘圓にて請負目下諸材料及び家屋等の引繼中にて三月二十五日より工事に着手せりと

◎兩電燈併合

大邱電氣會社と成興電氣會社は今回併合する事となり目下手續中の由なるが人事材料等の有無相通上便宜ならんとの點より併合議起りしものなりと

◎開城電氣開業

開城電氣株式會社に於ては營業開始に伴ふ諸準備を進めつゝありしが最近遞信技師牧田鐵郎氏出張の結果機械其他の檢查終了せしに付四月一日より點燈を開始せりと

◎東實募株好況

三月二十八日募集開始三十日締切りたる東洋實業公司の新株三千株は應募五倍に達するの盛況を呈し相當强定を加ふる由猶ほ京城の應募は五百六十株に達したりと

◎醫科大學生視察

九州帝大醫科大學生鮮滿見學團三十二名の一行は二日午前十時二十分仁川著直ちに仁川病院を見學し午後築港を視察即日京城へ向へり（仁川）

◎大田中學入學式

京城中學大田分教室は官制發布と同時に大田中學校と改稱せらるゝ筈なるが舊生徒即ち二年級は四月一日より始業今年第一學年生に編入せられたる新入生に對しては四日四日午後一時より入學式を擧行すべし（大田）

◎靑木課長消息

目下滿洲方面旅行中の靑木農務課長は既に鄭家屯四平街の視察を終り昨今鄭原線視察の途に在るもの如く最近の消息にては豫定より二日遲れ奉天撫順本溪湖を經て八日歸任の旨其筋に通報ありたりと

◎豬原氏昇格

滿鐵京城管理局囑託朝鮮ホテル主任豬原貞雄氏は四月一日附を以て職員に任ぜられたりと

◎技術員採用試驗

京城郵便局にては郵便局に採用すべき電信技術員志願者二十名に對し四月二日採用試驗を行ひたり

人の消息

▲木下博士（水原勸業模範場長）二日夜入京巴城館へ
▲鍬保之助氏（同技師）同上
▲石原直吉氏（中村組）同上天安へ
▲增田正氏（重砲兵第二十五聯隊少佐）同上不知火へ

日日言語

滿蒙を中心として沿海州地方は到る所兵士の斬取强盜勝手次第といふ有樣で是等の兵士が分捕つた金剛石なども奸商人の甘言に誑されて二束三文に賣り飛ばすので西伯利亞で此の掠奪品を買つて大分儲けた者があるさうだ▲磯節といふものは慥か明治三十何年頃かに東京で初めて流行り出したものであるが其の輸入元の本家は橫山大觀畫伯であるといふ▲それは當時大觀氏を初め觀山春草氏等が常陸へ行て貝塚の探險に行つたとき大洗で藝妓を揚げた所が何か土地で流行る珍らしい唄をとの註文で初めて聽いたのが此の磯節であるとの事だ▲東京に居る鈴木といふ苗字の人が集つて上野精養軒で「鈴木同族會」といふのを開くさうである▲幹事長は千葉縣代議士鈴木久次郎氏で同氏の說に據ると千葉縣には鈴木といふ姓の者が有權者ばかりで千三百人あて東京の有權者で鈴木姓の者が七八人全國では有權者ばかりで數萬に達するさうだ

◎朝鮮に貨幣法施行

一日勅令を以て貨幣法を朝鮮に施行するの件を公布即日施行されたり（東京特電）

◎法律改正

一日官報法律第二十二號乃至第二十九號を以て第四十議會の協贊を經たる舊韓國貨幣の處分に關する法律、市町村立小學校教員退隱料及び遺族扶助料法中改正法律、徵兵令中改正法律、日本勸業銀行法中改正法律、日本興業銀行法中改正法律、臺灣銀行法中改正法律、朝鮮銀行法中改正法律、有價證券割賦販賣業法公布せられたり（東京特電）

◎鮮滿に關する官制改正

一日勅令を以て朝鮮總督府勸業模範場官制中改正の件、同專門學校官制中改正の件、同高等普通學校官制中改正の件、同中學校官制改正の件、旅順師範學堂官制、關東都督府滿洲駐劄陸軍部隊給與令中改正の件を公布何れも即日施行されたり（東京特電）

□定例休刊

三日は神武天皇祭に付き同日發行の夕刊並に翌四日の朝刊は定例休刊す但し重要事件突發せし際は號外を以て報道すべし

優等清酒

廣島縣西條町
釀造元 木村靜彥
京城府鍾路（中央市場）
發賣元 河野酒店 電話二三〇八番

代書開業
熱心と誠實を旨とし御依賴に應じ申候
江原貞一
事務所 京城府渭造洞百十七（裁判所前路地內入る）
通譯 白[illegible]行

朝鮮及滿洲 四月號（育號） 每月一回一日發行
小康を貪る勿れ……釋尾旭邦
東出に殺到せんとする二大勢力……法學博士添田壽一
經濟的に觀たる戰局の推移……法學博士堀田德三
極東に於ける東淸鐵道に關する支那の行動……法學士山崎元幹
社會學的見地より觀たる露國の缺陷……文學士今井政吉
地理學上より見たる南滿鐵道……木戶理學士
支那の產業……小平農學士
滿洲の農村と組合……待農學士
滿洲の貨幣制度……一記者
東京名士の其印象……一記者
ヨボ化論……釋尾旭邦
法規制定の效果……小原法制局長官
水產業の前途……
造林に就て……齋藤營林廠
朝鮮人物と滿洲人物……ヒマラヤ山人
外交員の觀た各會社の文書課長……一外交員
藪醫者と花嫁……丁生
呪はれた一家……早人
モヒ成金……長城生
西比利亞及北滿洲の槪要……
露軍移住者……二宮中將
滿蒙處分問題……安藤課長
余の見たる露國……股野貫三
最近の露都雜感……少將談
東京通信……飛魚漁郎
界隈見……一記者
文藝消息……九四二生
編輯室より……旭邦生
長谷川總督の半生……一記者
京城を通過した時の人……一記者
法曹界拜客……可記者
東京の自動車と電車……可水生
東京人物訪問記……水山生
滿洲旅行記……寒山生
外交員の訪問印象記……松南生
京城素人諸藝……一記者
京城琵琶界……琵琶法師
內外物價の趨勢
滿鮮事業便り
鑛山界の消息
京城旭町 朝鮮及滿洲社 電話二二五〇 振替一三二

◎公債月賦販賣元祖
帝國公債信托株式會社
東京市京橋區日吉町十一番地

◎東京鐵道拂下品販賣
▲被服、袴下、手袋、靴下類一切
紺セル背廣三揃、德用品見せ入
改造半ズボンスコツチ背廣
洋服其他新調品特に勉强御相談に可應候
▲中古品洋服類一切
新古男女御衣裳多數取揃有之候
不拘多少御注文奉願上候
諸官衙拂下品和服洋服商
龍山元町二丁目 金子商店 電話長一〇五番 振替京城三八二

山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城本町 振替京城三〇〇番

京日案內
普通 一行五十錢 一回金一圓 番外

◎男生入用 希望者本人來談 龍山元町二丁目七二 金銀細工 龍正
◎看護婦及見習生至急募集 希望者は本人履歷書携帶乙來談 京城本町二ノ四五 山田醫院
◎赤川行自動車 午前八時發 京城水標町 電話二一三八
人夫監督一名至急入用 健脚にして算術を解する者 京城黃金町一の五 小川
番外
◎娘行儀見習に雇はれたし 年齡は十五歲 電話四三七番 旭町一丁目 武井方

恩給 年金 長期 立替 低利 即金 引無 但し公債買取 擔保貸附 京城若草町百六 電話三〇一一番 西村商會
年金恩給 ▲四年半迄保險不要 ▲京城永樂町 江州屋本店
社員大募集（內勤） 有給 希望者は履歷書携帶來談あり度し 京城黃金町一丁目一八五番地 帝國生命保險朝鮮支部
社員採用 有給 但し英語及日本語に充分に解する者を求む 履歷書を添へ朝鮮ホテル內ブーロ宛至急申込あれ
信用又擔保付貸出 懇切秘密に御用申上候 京城府廳前 電話二九六五 三成社
◎はねつき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場
印版彫刻 弟子入用 十二歲より十六歲 但し保證人を要す 京城本町一 千代田號印舖
椅子 卓子 金庫 新古格安製造販賣 京城黃金町二 電話二四二一 室商店
鑛物各種分析 明治町二 支那領事館前 郵便局前 田部分析所 電話長二七七
舊恩給 立替四ヶ年半迄 月一步二厘 五毛本 櫻井町一ノ一九八 直接取引 電話長二五〇番 博多屋本店
◎男女社員採用 履歷書携帶午前中來談あれ 京城黃金町三丁目二九一 愛國國債株式會社京城支部

◎商品代橫領 山口縣大島郡小杉町生れ前科一犯の泉[illegible]

◎博士の弟と藝妓 短銃心中

晋州▲品評會 晋州普[illegible]
きは僅かに四十六分を以て完全に
日午前四時衛山縣に向ひつゝ退却し
[illegible]は步哨圖を組織し秩序維持に任
市內八商所に放火せられ銅元局
掠奪も止み一時引揚げたる居留民
への商談は全然杜絕の姿にて僅か
に大[illegible]の常用商談を見るのみな
阪商船）△富浦丸（六四八〇噸）
四月渡六、七月出、新嘉坡以東
三八個（大洋海運）△英丸（三八
[illegible]

……二千餘百名に達し近來に無き盛會なりし▲製絲會 去る廿九日製絲……なりし▲製絲會……技術を……慣せるが技術熟達し早……

●[illegible] 南軍衡山に退く

……總司令は幕僚を從へ去る二十五日……府は廿四日頃未だ甚だしく破壞せらるゝに至らざりしが廿六日頃より掠奪猛烈を極め城內目拔の場所は慘澹たる光景を呈するに至れり尚……兩兵の影を見ざるに至れり……其後續々北兵到着し廿七日城內に……從つて……最早印度、北米航路に於け……及思惑ネ流……の成立せるは左の如し（東京）ハドソン丸（六一五〇噸）六月渡一箇年、甲谷陀以東三三八圓（大……（二二五〇噸）八月渡一箇年……貫三二圓コロンボ三三圓（山下）……一日午後四時頃……中を逃げた……警察署に引致さる

□神武天皇御例祭

聖上陛下告文を奏させ給ふ

三日は神武天皇御例祭に就き宮中皇靈殿にては嚴かなる御祭典を行ひ各皇族方を初め大勳位親任官以下勅任待遇は午前九時四十分參集次いで神樂歌の奏奏中御開扉獻饌終りて九條掌典長祭詞を奏し終るや　天皇陛下には黃櫨染御袍にて出御御禮拜後告文を奏せ給ひ次いで皇后陛下御禮拜あり、引續き各皇族方並に參列諸員拜禮あり撤饌後閉扉正午より午後迄神佛各派管長、伯子男爵從二位勳二等功四級以下禮拜あり大和畝傍陵には下田掌典參候御祭典を行はせらるゝ由（東京特電）

●日米親善に盡した人

東洋に於ける布教狀態視察のため五日入京するペリー博士

既報の如くペリー博士は五日午後九時入京の筈なるが此れに就いて山本牧師は語る　博士の渡來は米國傳道會社より東洋に於ける布教狀況視察のため東洋特派員として派遣されたのであります同博士は

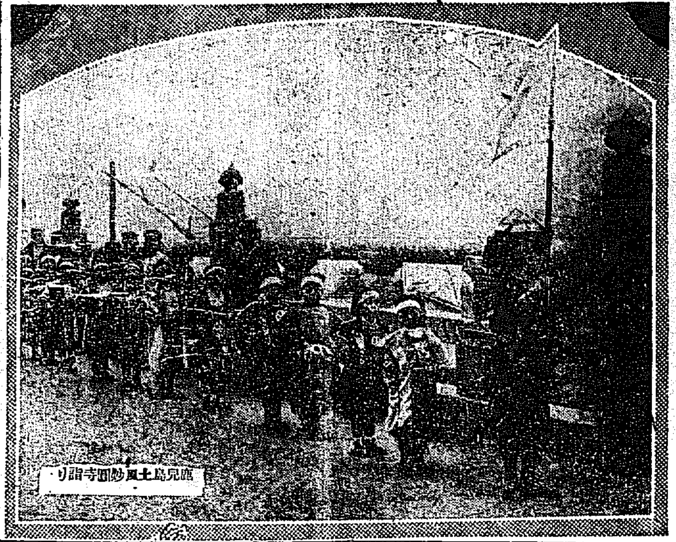
▽明治初年來　朝して初めは神戶に在住して居つたが其後京都の同志社で看護婦の養成に盡め且つ病院を建てゝ我學界に裨益した岡山に移つてからは孤兒院の創立發展に盡瘁し、明治六年我國の監獄制度を視察するに及んで當時の刑事政策が極端な懲罰主義に偏して居る事を知り監獄制度の

▽改良意見を　政府に建白し遂ひに當路を動かしたなど傳道に於て學術に於て社會改良に於て貢獻する處が多かつた、博士は久し振りで日本へ來たが橫濱に上陸する早々日本人は昔は口を開いてゐたが今ではポカンと口を明けて居る者は少くなつた

▽隱居の風が　無くなつたと言ふ話であるが成程老人が盛んに活動して居る、一般に背が高くなり近視眼の人も少くなつたのは日本に於ける衞生思想の進步した證據であらうと所感を述べたさうである、京城着後の博士は六日は私の招待で外人宣敎師と朝鮮ホテルで會見し正午は總督官邸の招待に臨み午後は有志が歡迎會を朝鮮ホテルに開き夜は

▽朝鮮青年會　で講演をする事になつて居ります因に博士は日米親善に努力した功勞に依り勳三等を授けられた

九州視察團寫眞帖（十二）


鹿兒島土風妙圓寺詣り

●奥田代議士 訴へらる

鳥取縣代議士奥田龜造氏は東京府下代々幡村並木伊三郎氏より漁業資金と稱し金一萬九千圓を騙取し尙ほ同人の書畫數幅を詐僞橫領せりとのことにて東京地方裁判所檢事局に告訴され遂に檢事の受理するところとなれり（東京電報）

●會津日報社長 收監さる

若松市會津日報社長牛盛藤吉は三月三十日突如收監されたり同人は昨年春の總選擧に際し柴氏派の爲めに白井代議士を日報紙上にて攻擊し名譽毀損にて訴へられ上告中なりしが一月十四日判決ある筈なりしに其の沙汰無きより白井氏が取調べたるに同人が白井氏の私書私印を僞造し取下願を爲せしこと發覺したる爲めなりと（東京特電）

●金氏の容態

既報せし精神憂鬱の氣味にて總督府醫院に入院治療中なる李王職の金東完氏は其後漸次快癒に向ひたれば既に普通病室に移りて治療中なるが追つて氣分勝るゝを待ちて當分靜養する事となる由にて一時心痛せる家族親戚友人も漸く愁眉を開くに至りたりと

▽恁んな處で夏を過したい

秘苑の風色に醉うた喇嘛僧一行　樂しい一日

京城ホテルから昌德宮へ　總督醫院から明月館へ

喇嘛僧一行は午後一時から京城ホテルで日鮮各宗僧侶と共に總督の招待に係る精進料理の饗應を受けた、席上宇佐美內務部長官は日蒙は同種族なるが故に相提携せざる可からざるを述べ團長寶海濟氏は懇切なる待遇を謝する旨を述べて之に答へ

▽記念撮影を　了へて一行は俥を連ねて高等普通學校へ向つた學校では岡校長から鮮人子弟に對する敎育狀況を說き更らに昌德宮に向ひ秘苑を拜觀し宙合樓でお茶の接待を受け前面の池を圍繞せる櫻木を眺め『こんな處で夏を過したら暑さを感ずる事はあるまい』と感じ入り植物本館の

▽翠綠を見て　は『仙境も斯くや』と語り合ひ溫室に咲く目も綾な西洋草花を嘆賞し『什うしたら斯くも綺麗な花が咲くものか其容繰りが見度い』と說明者を困らせ中に『花きれい〳〵』と片言ながら日本語で賞める者もある、動物園では虎や獅子は左程でも無いが流石に

▽象や河馬は　珍らしく小鳥に打興じ水禽室の白い鶴に始めて見、其他のものも多大の感興を惹いた、更らに總督府醫院では各科に就て案內を受け休憩の後午後六時から明月館に於ける京城各宗聯合歡迎會に臨み朝鮮料理の饗應を受け同七時五十分南大門發列車で釜山に向つて發した

▼日本は太陽の國

＝日本は蒙古では太陽と云ふ意＝

◆日本に佛樣さへあれば心は一致してゐる◆

朝鮮にもお寺があるか、有難い

一行の團長は甘蒂喇嘛の主持喇嘛札木騰師が病を生じたので代理として同地の管法喇嘛ザフサンナムタラ（三六）といふ人が來た、奉天の皇寺で記者に語つた管法喇嘛のはなしに「自分はまだ

◎日本を見た　事がない、ナリネ即ち日本の名は蒙古では太陽といふ意味であるから日本は太陽の昇る國だと思ふ、聞く處によれば日本にはわれ〳〵の信仰する佛陀の敎へがあるといふ事だが佛さへあれば日本人の心はわれわれの心と一致してゐると思ふ、故に、成吉斯汗、忽必烈、それは蒙古人の發音そのまゝです、日本をむかし攻擊したのは忽必烈の弟といふことで

□蒙古の兵船は　風にふき飛された

といふことだから怖ろしい國だと思ふ、忽必烈の歷史は西藏文字の書物で見た、自分は西藏は知らぬしかし拉薩に往くには駱駝に騎つたり步いたりして約一箇年はかゝる、あちらを見て授戒して歸るには尠なくとも五年の年月を經なければならぬ、拉薩にはダライ、フトクト（法王）とベンシンフトクトといふ偉い人が居る、途中は沙漠もあつて大變困難な旅行である、自分の此の

◎袈裟は西藏　の毛織物だ、喇嘛の偉い人となるには皆西藏の大本山に往かねばならぬ、若しまた拉薩を見ぬ人でも外蒙古の庫倫には是非往かねばならぬ、自分の處からは六千里（蒙古里）もあるから隨分遠方である、なに朝鮮にもお寺があるか、それは難有い事である、なんでもよく觀てお土產ばなしに致したいと思ふ…」と、猶ほ一行は佛前にそなへる一切の供物、燈明や香爐や音樂用の太鼓、法螺、木魚、銅鑼笙等をも持つて行くといふ

▼釋默笑師曰く

活佛までも　日本見物に案內したい

奉天の喇嘛寺にある唯一の日本僧釋默笑師曰く『御承知の通り喇嘛敎は蒙古人の生命で、喇嘛は蒙古に於て非常な勢力を有つて居ります、私は永らく此の寺に居て自分自らも喇嘛を以つて任じて居る位ゐですから道回せひ

◆蒙古の喇嘛　たちにも日本を視て貰ひたいと思ひます、日本では主に寺々の巡覽といふ譯ですが東京首め方々で盛んな歡迎をいたゞくさうで洵に仕合せと思ひます、素々蒙古人は總ての點に於て日本人とよく似て居りますから喇嘛達もきつと喜ぶだらうと思ひます、私は唯だ喇嘛に對し

◆日本の佛敎　國だといふ事を知らせたいばかりに慫慂企てを試みました、追々には外蒙古の活佛までも日本見物に案內したいと思ひます……しかしそれは遠い將來のことかも知れません』（在奉天一記者）

◇九州醫科大學視察團一行入京

◎九大醫生

視察團入京　三十三名の團體

九州醫科大學卒業生及び學生三十三名の一團は同大學學友會幹事濟藤淸司氏に引率せられ鮮滿視察の爲め二日朝釜山より仁川へ直行し同地視察の上同日午後四時半南大門驛着の列車にて入京し知久旅館に投宿せるが三日は景福宮博物館昌慶苑其他を視察四日は平壤まで赴く可きや否やを決定す可しと

◇登秀を聽く

浪花節より講談だ　旨い花月と燕入道

一日から有樂館に開演した浪花節櫻本登秀を聽く、彼の語り物は大石藏之助と大阪首尾の爆彈事件とであつた、彼は先づ自ら卒直に告白して『私の浪花節はこの一座の前座より拙い』と言つた通り、彼の浪花節そのものは一ー會にその藝に觸れようとして聽いた人の大多數が彼が冒頭を語り出した瞬間に於て既に或る期待を裏切られた事を直覺した、露骨に言すれば彼の浪花節は吾々の如き浪花節に就いての合點が聊いてさへ、公衆藝術として一顧の價も無いといふことを斷言するに躊躇しない程で且つ無器用なものであつたのだ。然かも彼が或る程度まで自己を意識しつゝ倫平然として聽衆に臨まうとするにはソコに何等かの强い自信が無ければならぬ。ソレは恐らく彼が特むところの講談にあらう、彼の講談的素養に至つては、多少誇張の點はあるけれども、[illegible]一流の新講談師を以て任ずる[illegible]等と優に比肩し得るのみならず、[illegible]以上に[illegible]あることを認めるに躊躇しないけれ共未だ以て[illegible]の域にも達して居ない其浪花節には道樂[illegible]ら之れ和する事は出來ないのである。固より素人藝なる彼の浪花節に多くの望みは繫いではゐなかつたけれども、著しく感じた二三の例を擧ぐれば第一に浪花節の聲では無い、節回しにいかにも無理が多い、それから下襟で運んでゆく場合には完全であるが節になると妙に上アゴにかゝる[illegible]が出て來る、これが甚だ耳觸りである、しかし前にもいふ通りそれを補うて餘りあるものは講談で講談と來ては確かに旨い、何んといつても旨いものである、講談さしては一座の長たる資格は十分である、茲に於いて予は彼の[illegible]明にして何故に不得手な浪花節を看板としたるかを怪しむと同時に一歩進んで以前吾々の[illegible]であつたさい、彼のために今後は堂々講談を以て立たん事を斜める的に忠告したいのである。因みに[illegible]花月と三枚目の燕入道[illegible]が聽いたが[illegible]既に大家の[illegible]なる燕入道といふ少年は[illegible]秘藏弟子とあるだけに[illegible]すべきい[illegible]して[illegible]は[illegible]に肉をつけたもので彼の[illegible]力よくこれを[illegible]白い聽き物である。（せいたら）

◆記念植樹に好い

四三日は雨……

每年四月三日を期して一齊に行はれる記念植樹は今年で恰度八回目、趣旨の普及に比例して朝鮮の山も靑くなつた、今後五年十年の後には一層面目を革めるであらう、今日は恰度四月三日都鄙老幼の區別なく野に山に記念植樹を行ふ筈、京城でも總督府を首め各官廳、各學校など夫々に鍬を揮つて植樹に從事する筈であるがソレには幸ひ二三日來の降雨、土地も適當に濕つてゐることゝて苗木の活著も速からうとは結構……。

今日の旅日　降るか照るか

▽低氣壓が停滯して居る限り　到底青空を見る事は出來まい

─花には─　まだ間もあるが野にも山にも春は來た、三日は神武天皇祭、天氣さへ好くば昌慶苑を始めとして郊外は春を探ねる人々で賑ふことゝ思はれる、殊に總督府では午前十時から阿峴の苗圃で記念植樹を行ふ計畫もあるが氣遣はれるのは

─空模樣─　降るか、照るか京城測候所に訊いて見ると、曰く每年四五月頃から七八月頃迄は氣象の變化の最も甚だしい時季であるから豫測は頗る困難であるが二日午後の氣象配置から考へると俄かに天候の回復しさうな模樣も見えない、今主要な

─低氣壓─　は黃海道と全羅北道の二箇所にあつて謂はゞ朝鮮全體が低氣壓に包まれて居る形だが、日本海方面と支那大陸方面の高氣壓に挾まれて居るので靜と停滯した儘少しも動かない、若し大陸方面に今一層優勢な高氣壓が現はれて此低氣壓を

─追つ拂─　つて呉れたなら直ぐ天候は回復するのだがソンな事は昨今起るべき現象ではないさうで、さう云ふ譯で低氣壓が停滯して動かぬ限り到底麗かな靑空を見る事は出來ないであらう、惡くすれば或は降るかも知れぬと

資本金　參百萬圓
東京鋼材株式會社
東京南葛飾郡大崎町
鐵道院 海軍廳 指定工場　スプリング工場
同　大島町二丁目
製品種目
鋼、平、丸、角各種
鐵、平、丸、角各種
スプリング各種
磨シャフト各種
紐鋼（ゼンマイ）各種
各種寸法は各種共貴需に應じ製作可仕候
スプリング印 八角鋼 製造元
朝鮮出張所
京城永樂町二丁目
電話一八七一番

櫻御殿

第百九十一回　大阪　霞の家主人

關東浪人（三）

身に少しも覺はないが、他に清之丞へ食物を運ぶ者があるとすると、それは清之丞に恩誼を受けたものであらう、罪人に食物を運んだ事が露顯すれば、その人の命は無論ねる、すれば命懸けの仕事である、その危險を冒して飯を運ぶは、よく／＼の義理があるからであらう

こゝで我身が、飽くまで覺の無い事を主張したら、此のまゝ放免されるであらうが、さうしたら役人の注目が其方へ向く、折角そこまで思ひ込んで、夜なく／＼食物を運ぶ人の忠が無足になる、武士の貴ぶ點は意氣にある、それは何處の人か知らない、縁故も無ければ知り人でもない、けれどその人の意氣は買はなけりやならない、どうせ現世に用のない身である、意氣ある人の罪を受けて、どれ程の刑に處せられるとも、それは望む處である、よし、罪を引き受けて、眞の武士を助けよう

二には、清之丞に食物を運ぶ人の罪を引き受け、潔く刑を受けたと聞いたら、清之丞も悪くは思ふまい、その結果は初瀬を許すとゝなら、初瀬の命を全うすれば、桐島の恩を報うことになる、人間、苟にも武士と生れ、恩を忘れては生甲斐が無い、好い死に處ぢや、此の命一つを捨てゝ、妹も助けよう、初瀬も助けよう、見ず知らぬ仁義の士も助けよう

利右衛門は斯く覺悟して

『清之丞に食事を運んだは手前でござる、然し、妹には關係がない此の段は申し置く』

『さらば聞く』と詮議の役人は彼が素直に白狀したるを歎んで『何の仔細あつて清之丞に誠心を盡すのぢや、お城の御門を潜び入れば重罪に科せられること、お主も知らぬことはあるまい』

『切角のお尋ねぢやが、此の儀は申し上げ難ねまする』

申し離れるのではない、白狀する言がないのである

『するとお主も、奥方樣の御消息に目を掛けた一人ぢやな』

『左樣ではない、手前は清之丞に恩がござる』

『何んと云ふ』

『一飯の恩だも反古にせねは武士の常ぢや、報恩の爲め食事を運んで、やつと恩誼を返し申した、此上は如何やうの御罰を蒙むるとも決してお恨みには存じ申さぬ、只今生の思ひ出には、清之丞に只一目だけお會はせ下され、餘所ながらにても暇乞ひが致したく存じ申す』

少しも悪びれた氣色なく、さつぱりと云ひ放つた、詮議の役人もその男らしい口上に感じない譯には行かなかつた

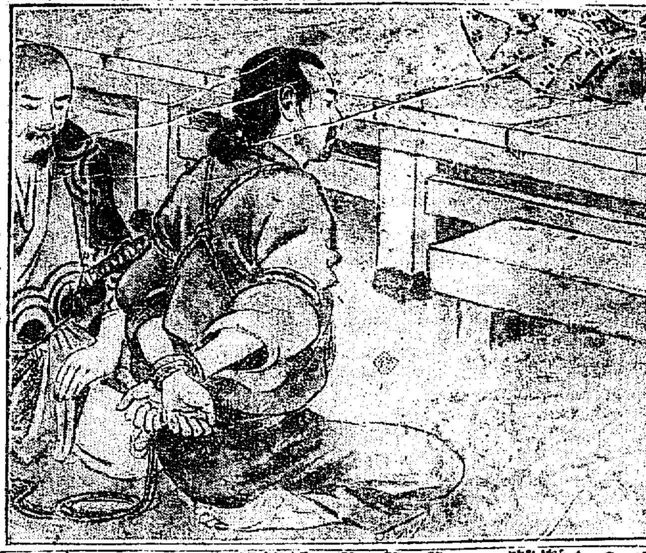
『早速の白狀、神妙に存する、然し、清之丞申の條と多少相違の點もあるゆゑ、尚一應訊問致す、それまでは揚屋入り申し付けるぞ』

『いや、お役人衆、その儀は迷惑仕る、一言の故障も無く白狀致したは、早々お處刑に會ひたいからぢや、お慈悲は却て迷惑に心得る、御不審の次第あらば、何にても御問ひ遁はされね』

利右衛門は怯ず臆せず云つた

『その口上、有理に聞く、然し、芳野に關係がないとは云はせぬ、清之丞自身の白狀、それに相違あらうとは思はれぬ』『どうぢや』

利右衛門は不圖『手前は何うして此樣な疑ひを受けたであらう』と心付いた、それには役人の今の口上に、清之丞の白狀から起るやうに云つた、すると清之丞が我等同胞に恨みを持つて、人知れぬ陥穽に突き落したのではあるまいか



京城明治町一丁目　入院隨意　胃腸病院　電話一六五九番　院主　佐々木杏造

鮎

〔五の日十の日會〕

○ 浮碧樓

鮎群れて泳ぐ顔をもて覗けり　芹郎

○

鮎の口から外す針の馴れとる　鳥堂

鮎眠を過ぎし淺も立つてゐたり　豊果

□浴泉居雜咏

走せ下る北漢山に岩多し一路はるかに岩のみ多し

冷たくも鶯啼る朝よ新しき草鞋を足に旅立つわれは

むくつけき草鞋の紐を結ぶときふと浮びたる旅の思ひ出

泣きぬれし瞳すと／＼大空の星顔けり肌つめたし

しめりたる大路をかろく辷りゆくわが自轉車のタイヤはめぐり

きら／＼と星光りて京城は逃くしづかに動かざりけり

今日のおやつは　モナかときめて　電話かけましよ木村屋へ（京城明治町　電二八七〇）

◉信用ある東京三舍の靴　東京市芝區愛宕町三舍高等靴店にては歐風の影響にて製革に暴騰を來し各靴店の値上げ行はれしに拘らず獨り同店は豐富なる材料の持合せと薄利多賣の主義を守り特別廉價にて販賣せるため各地より多數の註文を受け日夜多忙を極めつゝあり因に希望者はハガキにて申込ば定價表最新目錄進呈すさ

新刊紹介（到着順）

▲緋木禪史小說（第三集）　第三集には松風村雨物語、緋木在原業平草紙、淨瑠璃姫物語の三卷何れも讀切物を收む古き草双紙を總ふりがな附きにて印刷しあれば本文は落字等も其儘の色刷及び繪刻さして何人にも讀み易く眞に徳川中世の情調に富める所謂る大江戸文學を味はんとする者には此上なき讀み物なるべく殊に値段の安きことは驚くばかりにて正味菊版四百三十頁の本が一冊只の三十八錢とは殆ど古本同樣の値なり（東京博文館）

▲新日本（四月號）　新渡戸神戸井上氣賀諸博士牧野安部兩教授知名實業家の有益なる論說叢話及び經濟觀並びに人物評等の外創作三篇を載す（三十錢東京市外落合村下落合五七五共社）

▲農業世界（一四ノ四）　最も完備せる農業雜誌なり（二十錢、東京博文館）

▲人文（三ノ四）　歴史に關する卑鳥（黒板博士）鐵窓の春（佐々木博士）靈ニコチアナ外（姑射古調新鐸（白人會）外數篇（十六錢東京小石川白山御殿一一七禪牛會事務所）

▲女の世界（四ノ四）　青柳有美氏の主宰せるものにて女も讀むべく男も讀むべき面白き雜誌なり（二十三錢、東京麹町有樂町一ノ四實業の世界社）

▲青年文壇（三ノ四）　文學雜誌として投書も多趣味方面なるもの（十八錢、東京牛込見付東亞堂）

▲日本印刷界（一百號記念）　印刷界の羅針盤にして當業者の相談相手に絶好の参考書なり（二十七錢、大阪南本町二共社）

▲武俠世界（七ノ五）　嘉納治五郎氏の解部　四氏の評）社會生活の過程（四書生）としての余翁　井上少將　崎人傳（蒋半武俠史）剣卿村）常陸丸と博多丸（花井）その他落語評判記、生物を創造する化學の新、倫敦奇談秘密室外十數項（二十錢、東京上野公園櫻木町共社）

▲國民飛行（三ノ四）　長岡將軍を會長とせる國民飛行會の機關紙にして同會にては普通『航空』さいへる熟字を『空』局に『元』の字を當てたる『作字努力』と改めたるが此の雜誌は飛行界に關する面白き話を集めたるものにて全紙壯快なる記事を以て滿たされたり（二十錢、東京麹町飯田町二ノ三國民飛行協會）

▲鮮滿之工業（四）　滿の千滿を利用する水電（君島博士）工業地としての滿鮮（久保京管局長）朝鮮大麻布（上田中央試驗所技師）貧鑛處理法（アルミル生）及び油脂工業海州の石細工外數十項（二十五錢、京城旭町一ノ七一共社）

▲現代の圖案工藝（家庭圖案號）　繡彩色の圖案數十種を挿入し圖案工藝に關する學理作圖說明時報等を載す（二十八錢東京青山南町二ノ四共社）

▲楷の火（如月）　仁川俳壇の青年文士が楷の火吟社さいふものを起して句作を練習してゐることは久しき前よりの事であつたが此の雜誌は同吟社の機關誌として發行されたるものである中に誦すべき句も尠くない（非賣品仁川京町赤松方楷の火吟社）

▲東洋時報（二三四）　閑話に利用せらるべき朝鮮植物（中井博士）外數項（五十錢東京麹町内山下町一ノ一東洋協會）

諸者の領分

▲春蛙吟中『蠅既に庫裡の廣さに生れけり』と云ふ句がある此句が春の蠅と云ふ季節の句となるだらうか橙黄子は既にと云ふ字を利かした積りだらうが無理だ田打犬の四月蠅と斷つて居る方が正常で句も素より上だ（天狗るべからず生）▲近來當欄へ詰らぬ事を書きて貴重な紙面を汚すものあり若い男女が支那領事館通りの暗がりへ沒したとか或はどこか怪んな事を書き立つて何になるかそれより青年の士氣を鼓舞する樣な事でも書き給へ敢て請らぬ事を晉く奴等に忠告す（無念居士）▲四月一日付の此欄中ありし實業講習錄ありますから御譲り致します（明治町天野理髪部内坂田貞雄）▲二十四日卒業を舉行した東洋協會專門學校は今年度より東京の本校獨立にて朝鮮で生徒募集した修業年限は三個年『商業上必要なる高等の教育』を授くるを目的とし殊に語學と云ふ方面に非常に力を入れて英語朝鮮語は勿論ロシヤ語支那語等あつて高等商業と外國語學校とを合した樣なものである實業界に雄飛せんとする人達の集る學校だけに他校よりも比較にならぬ程活氣に滿ち其の企圖し當ずするところも亦他校に見られない英氣がある卒業生は三百名を出して皆朝鮮の銀行會社各方面に多大の勢力を扶殖して居る心ある人▲入學を勸む（浪二）

◉月やく
月やくとまり不順のため食物胸につかへ時々嘔吐を催し足腰下腹痛み逆上頭痛眩暈して何となく工合悪く心配の方は秘藥用ひても きカメ他の藥に迷はず私方へ返信料を添て申込あれ若なくおける妙藥た人助にお知らせす。
東京日本橋通町停留所前　森田屋

職業　專賣特許內外實用品前單優美遠近男女自宅出來年中無休機具一切貸與し工賃日拂製品○熟練日收壹圓永久買受契約　◎見本郵送八錢要　特約店募集　大阪北區福島中二丁目電停留前　二葉商會本店

慢性りん病
石炭酸よりも強き殺菌力を有し尿道組織の激烈なる刺戟を避け粘膜の深層に潜伏せる淋菌を浸潤殺菌作用を有するに慢性淋疾に應用の目的を達し他の類似藥の及ばざる特長を有す急性淋病患者は必ず服用あれ
大阪市南區櫻川四丁目　振替大阪壹萬五千四十九番　藥劑師　淺田藥局

ハイーサック　特製品
B十個六十錢　AB形二十五錢　女用一個八十錢　月經帶一圓七十五錢　廿個以上一割引　郵券代用

りん病　淋毒性の最新藥を用ひあれ全治遠かり七日分一圓十四日分一圓九十錢本藥は他店に御贈なく直接本舖に御注文あれ
京城黄金町三丁目　山田文彩堂藥房

字印　アンチピリン丸
かぜねつ特效藥
▲求めよ!!　▲用ひよ!!　▲なをる!!
◎感冒◎ねつ　◎流行性感冒　◎頭痛◎麻疹　◎リウマチス　◎おこり
本劑の特長は　◎最新高貴藥の配伍　◎絶對に副作用なし　◎口中にて溶け易し
十錢　十五錢　卅五錢　徳用　金五拾錢
本舖　大阪　東京　丹平商會
賣捌は全國各藥店

下關期米　二日後場
大阪期米
東京株式　大阪株式